SONY

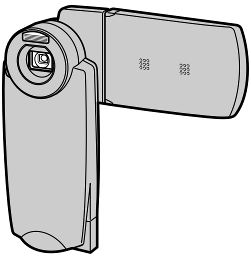
2-638-430-**02** (1)

サイバーショット取扱説明書

活用編・困ったときは

⚠警告 **電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。**

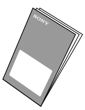
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。本書と別冊の「サイバーショット取扱説明書 はじめにお読みください」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



DSC-M2

Cyber-shot

MEMORY STICK ™ InfoLITHIUM ™ T TYPE



「はじめにお読みください」(別冊)
本機を使うための準備と、基本的な撮影・再生の方法を説明しています。

サイバーショットを使いこなそう

メニューを使う

セットアップ画面を使う

パソコンで楽しむ

静止画をプリントする

テレビにつなぐ

困ったときは

その他

安全のために

用語の解説/索引

商標について

- Cyber-shot と Cyber-shot Stationはソニー株式会社の商標です。
- “Memory Stick”、“メモリースティック”、MEMORY STICK™、“Memory Stick PRO”、“メモリースティック PRO”、MEMORY STICK PRO、“Memory Stick Duo”、“メモリースティック デュオ”、MEMORY STICK DUO、“Memory Stick PRO Duo”、“メモリースティックPRO デュオ”、MEMORY STICK PRO DUO、“MagicGate”、“マジックゲート”および MAGICGATE はソニー株式会社の商標です。
- “InfoLITHIUM（インフォリチウム）”はソニー株式会社の商標です。
- PicturePackageはソニー株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Media、DirectXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OS、QuickTime、iMac、iBook、PowerBook、Power Mac、eMacはApple Computer, Inc.の登録商標または商標です。
- MacromediaおよびFlashはMacromedia Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Intel、MMX、PentiumはIntel Corporationの登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

ライセンスに関する注意

本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているMPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSEのもと、次の用途に限りライセンスされています。

(i) 消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4 Visual規格に合致したビデオ信号（以下、MPEG-4 VIDEOと言います）にエンコードすること。

(ii) MPEG-4 VIDEO（消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、もしくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。

HTTP://WWW.MPEGLA.COM

⚠警告 安全のために

→ 107 ～ 109ページも
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

⬇

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷がないか、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやバッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐにテクニカルインフォメーションセンターへご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら
煙が出たら

➡

❶ **電源を切る**
❷ **電池をはずす**
❸ **テクニカルインフォメーションセンターに連絡する**

裏表紙に**テクニカルインフォメーションセンターの連絡先**があります。

⚠危険 万一、電池の液漏れが起きたら

❶ **すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂の恐れがあります。**
❷ **液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。**
❸ **液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。**
❹ **液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。**

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

火災　感電

行為を禁止する記号

禁止　分解禁止
ぬれ手禁止

行為を指示する記号

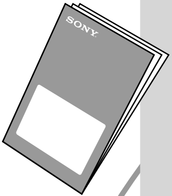
プラグをコンセントから抜く　指示

電池について

安全のためにの文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含みます。

サイバーショットを楽しむために

まずは準備をして、簡単に撮影しよう！



別冊「はじめにお読みください」

1 バッテリーを準備する

2 電源を入れ、時計を合わせる

3 "メモリースティック デュオ"（別売り）を入れる

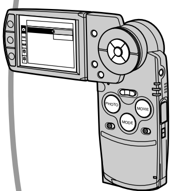
4 用途に合わせて画像サイズを決める

5 簡単に撮る（オート撮影）
写真とビデオを楽しむ（ハイブリッド撮影/5秒REC）

6 画像を見る/削除する

本書では、→*別冊「はじめに」*とご案内しています。

少し慣れたら、本機の機能を使いこなそう！ *本書*



- お好みの設定で撮影する（プログラムオート撮影）→35ページ
- メニューを使って、さまざまな撮影/再生を楽しむ→33ページ
- スライドショーやアルバムを使って楽しむ→28、30ページ
- 本機のお買い上げ時の設定を変える→50ページ

さらに、パソコンやプリンターとつないで楽しもう！ *本書*



- 画像をパソコンに取り込んで活用→61ページ
- 本機をプリンターに直接つないでプリント（PictBridge対応プリンターのみ）→77ページ

目次

安全のために 3
お使いになる前に必ずお読みください 8

サイバーショットを使いこなそう

ステップアップのための基礎知識 11
　ピントークリアな画像を撮るために 11
　露出ー光の量を調整して好みの画像を撮る 12
　色ー光の影響について 13
　画質ー「画素」と「画像サイズ」について 13
各部のなまえ 15
画面の表示 18
画面表示を切り換える 23
静止画の記録可能枚数と動画の記録時間 24
バッテリー使用時間と撮影/再生枚数 26
撮影/再生用ボタンを使いこなそう 27
スライドショーの使いかた 28
アルバムの使いかた 30

メニューを使う

メニューの操作方法 33
メニュー項目一覧 34
撮影時に使うメニュー 35

（カメラ）
（フォーカス）
ISO
Mode（撮影モード）
（インターバル）
PFX（P. エフェクト）
（コントラスト）
（セットアップ）
（EV補正）
WB（ホワイトバランス）
（画質）
BRK（ブラケット設定）
（フラッシュレベル）
（彩度）
（シャープネス）

再生時に使うメニュー 45

(フォルダ) / (プロテクト)
DPOF / (プリント)
(リサイズ) / (回転)
(セットアップ) / トリミング

セットアップ画面を使う

セットアップ画面の操作方法 50

カメラ 51

ハイブリッド撮影 / デジタルズーム
日付/時刻 / 赤目軽減
AFイルミネーター / オートレビュー

メモリースティックツール 54

フォーマット / 記録フォルダ作成
記録フォルダ変更 / コピー

アルバムツール 57

書き込み / フォーマット

設定1 58

操作音 / BGMフォーマット
LCDバックライト

設定2 59

ファイルナンバー / USB接続
ビデオ信号出力 / 時計設定

パソコンで楽しむ

Windowsパソコンでできること 61
画像をパソコンに取り込む 63
パソコン内の画像を本機で見る 70
付属のソフトウェアで楽しむ 71
Macintoshをお使いのときは 74

静止画をプリントする

静止画をプリントするには........ 76
ダイレクトプリントする（PictBridge対応プリンター使用）........ 77
お店でプリントする........ 81

テレビにつなぐ

テレビで見る........ 83

困ったときは

故障かな？と思ったら........ 84
自己診断表示と警告表示........ 96

その他

“メモリースティック”について........ 99
InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーについて........ 101
使用上のご注意........ 102
主な仕様........ 104
保証書とアフターサービス........ 106

安全のために

107

用語の解説/索引

用語の解説........ 110
索引........ 113

お使いになる前に必ずお読みください

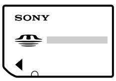
“メモリースティック デュオ”は付属しておりません。

本機で撮影を行うには“メモリースティック デュオ”が必要です。撮影前にご購入ください。

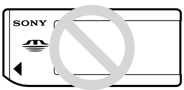
本機で使用できる“メモリースティック”(別売り)

本機で使用するIC記録メディアは“メモリースティック デュオ”(“Memory Stick Duo”)です。“メモリースティック”のサイズには2種類あります。

“メモリースティック デュオ”:本機で使用可能です。



“メモリースティック”:本機では使用できません。

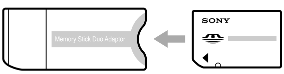


その他のメモリーカードは使用できません。

- “メモリースティック デュオ”について詳しくは、99ページをご覧ください。

“メモリースティック デュオ”を“メモリースティック”対応機器で使用する場合

メモリースティック デュオ アダプター(別売り)に入れると使用可能です。



メモリースティック
デュオ アダプター

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについてのご注意

- 初めてお使いになるときは、付属のバッテリー NP-FT1を必ず充電してください。(→*別冊「はじめに」手順1*)
- バッテリーを使い切らない状態でも充電できます。また充電が完了しなくても途中まで充電した容量分はお使いいただけます。
- バッテリーを長持ちさせるために、長時間使用しない場合は、本機で使い切った後、バッテリーを取りはずして湿度の低い涼しい場所で保管してください(101ページ)。
- バッテリーについて詳しくは、101ページをご覧ください。

カール ツァイスレンズ搭載

本機はカール ツァイスレンズを搭載し、シャープで、コントラストが良い画像を作り出すことを可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ カール ツァイスの品質基準に基づき、カール ツァイスによって認定された品質保証システムにより生産されています。

撮影内容の補償はできません

万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去にそなえ、必ず予備のデータコピー(バックアップ)をおとりください。

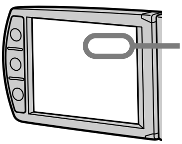
録画・再生に際してのご注意

- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「使用上のご注意」もご覧ください(102ページ)。
- 必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- 本機を濡らさないでください。水滴が内部に入り込むと、故障の原因になるだけでなく、修理できなくなることもあります。

- 日光および強い光に向けて本機を使用しないでください。故障の原因になります。
- 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。
- 砂やほこりの舞っている場所でのご使用は故障の原因になります。
- 結露が起きたときは、結露を取り除いてからご使用ください（102ページ）。
- 本機に振動や衝撃を与えないでください。誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、記録メディアが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。
- フラッシュの表面の汚れは取り除いてください。発光による熱でフラッシュ表面の汚れが変色したり、貼り付いたりすると、充分に発光できない場合があります。

液晶画面およびレンズについてのご注意

- 液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。



黒い
（白/赤/青/緑）点

- 液晶画面やレンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。
- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所で使うと、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。
- 本機のレンズ部をぶつけたり、無理な力をかけないようご注意ください。

レンズカバーについて

本機のレンズカバーは電源の入/切の際、自動的に開閉します。開閉時に指をはさまないようにご注意ください。またレンズカバーを無理に開けないでください。故障の原因になります。

画像の互換性について

- 本機は、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”（DCF）に対応しています。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影/修正した画像の本機での再生は保証いたしません。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本書中の画像について

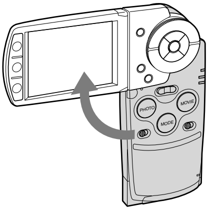
画像の例として本書に掲載している写真はイメージです。本機を使って撮影したものではありません。

表示言語について

本機のメニュー項目や警告などの表示は、日本語のみに対応しております。

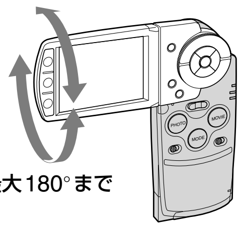
本機の扱いかたについて

- 液晶画面を開けるときは、図のように左側にスライドさせてください。



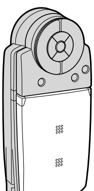
- 液晶画面の回転角は90度と180度です。また、液晶画面は使用状況にあわせて見やすい角度に調節できます。90度に開ききった状態で、お好みの角度に調節してください。

最大90°まで

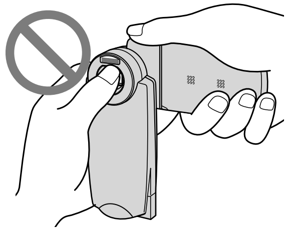


最大180°まで

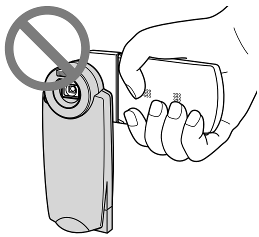
- 本機を持ち運ぶときは、図のように液晶画面を閉じてください。



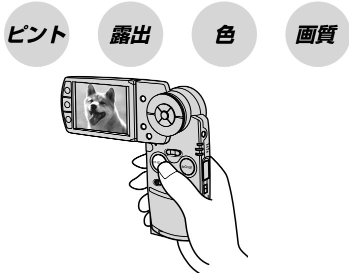
- 液晶画面を開けるときに、レンズ部に指がかからないようにご注意ください。



- 液晶画面をつかんで持たないでください。



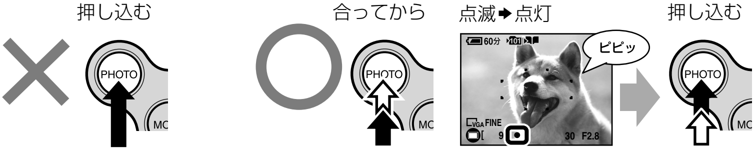
ステップアップのための基礎知識



ここでは、サイバーショットを使いこなすための基礎について説明します。
本機に搭載された多彩な機能は、各ボタン/スイッチ(27ページ)や、メニュー(33ページ)などで使うことができます。

ピント　クリアな画像を撮るために

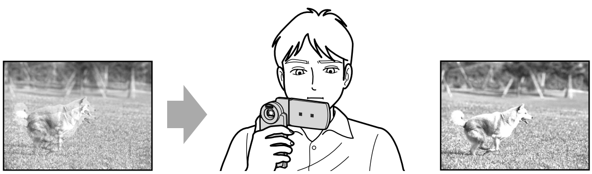
本機はPHOTOボタンを半押しすることで、ピントを自動で合わせます(オートフォーカス)。PHOTOボタンを半押しする習慣をつけましょう。



ピントがうまく合わないときは:→[フォーカス](38ページ)
ピントを合わせても画像がクリアでないときは、手ぶれを起こしている場合があります:→次の[手ぶれを起こさないためのヒント]をご覧ください。

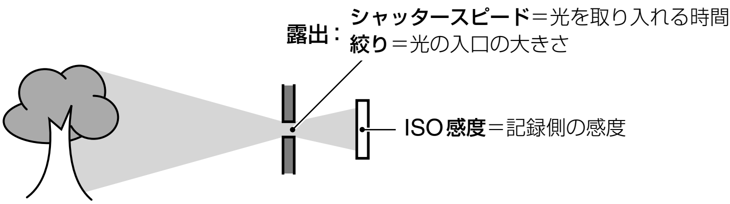
手ぶれを起こさないためのヒント

カメラをしっかり構えてください。そばに木などがあれば、寄りかかると安定します。また、三脚の使用、暗い場所でのフラッシュの使用もおすすめします。



露出　光の量を調整して好みの画像を撮る

露出と記録感度を調整することで、さまざまな仕上がりにすることができます。露出とはシャッターを切ったときに取り入れる光の量のことです。





露出オーバー
＝光が多すぎる
画面が白くなる



露出が適正



露出アンダー
＝光が少なすぎる
画面が暗くなる

本機は露出が適正になるように自動調整します（オート撮影時）が、以下の機能でお好みの状態に調整することができます。

EV補正：
自動調整した露出を補正→37ページ

測光モード：
露出を自動調整する場所を変更
→*別冊「はじめに」手順5*

ISO感度の調整

ISOとは、光を受け取る撮像素子（写真フィルムに相当する部分）の感度をあらわす単位です。同じ露出で撮影しても、設定によって仕上がる画像が変わります。[ISO]感度を調整→40ページ



ISO感度が高い
露出が足りない場所でも、明るめに記録することができます。
ただし、画像にざらつきが生じやすくなります。

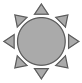
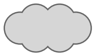
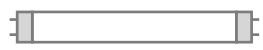


ISO感度が低い
ざらつきの少ない画像を撮ることができます。
ただし、画像は暗めに記録されることがあります。

色　光の影響について

被写体の見た目の色は、その場の光の影響を受けます。

例：同じ色が光の影響で違って見えます

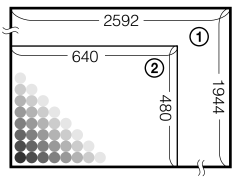
天候や照明	晴れ	曇り	蛍光灯	電球
				
光の特性	基準となる白	青みがかる	緑がかる	赤みがかる

本機はこの変化を適正にするように自動調整します（オート撮影時）が、[ホワイトバランス]（40ページ）でお好みの色に調整することもできます。

画質　「画素」と「画像サイズ」について

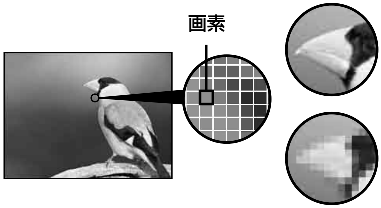
デジタル写真は「画素（ピクセル）」という小さな点が集まって作られています。「画素」を多く使うと、写真は大きく、データ量は多く、画面は精細になります。「画像サイズ」とはこの画素数を指し、本機の画面では違いはわかりませんが、プリントしたりパソコンの画面で見たときに、写真の精細さやデータ処理時間に影響します。

画素と画像サイズのイメージ



① 画像サイズ：5M
2592画素×1944画素＝5038848画素
② 画像サイズ：VGA
640画素×480画素 =307200画素

用途にあわせてサイズを選ぶ（→別冊「はじめに」手順4）



画素数が多い
（細密で、データ量が多い）

例：A4サイズまでの用紙にプリントする

画素数が少ない
（粗いが、データ量が少ない）

例：電子メールで送る

お買い上げ時の設定は✓で示しています。

	静止画画像サイズ		用途の例
✓	5M（2592×1944）	大きい	A4サイズプリントやA5高精細プリントする場合
	3:2 *（2592×1728）	↑	
	3M（2048×1536）		
	1M（1280×960）	↓	写真のL判でプリントする場合
	VGA（640×480）	小さい	より多くの画像を撮影する場合 Eメールへの画像添付やホームページ作成用の場合

* 写真の印画紙、ポストカードなどと同じく3:2の横縦比で撮影します。

	動画サイズ	用途の例
✓	640（30fps）（640×480）	よりきれいで、なめらかな動画を撮る場合
	320（30fps）（320×240）	
	320（15fps）（320×240）	より多く動画を撮影する場合

- 「fps」とは、1秒間に何枚のフレームがあるかを表しています（Frame Per Second）。なお、実際に撮影されるフレーム数は、撮影状況、被写体によって数値と異なる場合があります。

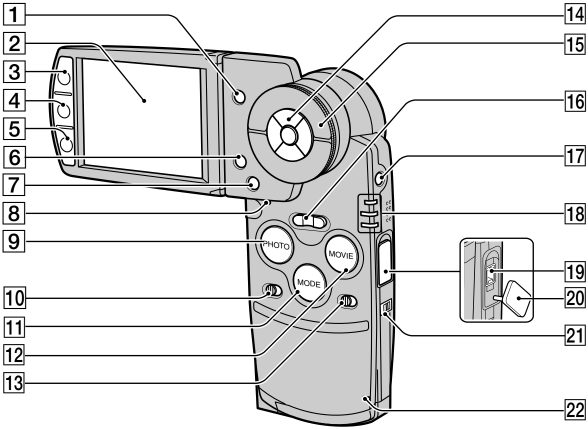
画質（圧縮率）設定をあわせて使う（41ページ）

デジタル写真を保存するときの圧縮率を変更することができます。圧縮率を高くすると写真の精細さは落ちますが、データ量は少なくなります。

各部のなまえ

カッコ内の数字はページ数。

カメラ



1 （インデックス）ボタン（77、→*別冊「はじめに」手順6*）

2 液晶画面（23）

3 撮影時：PHOTO（フォト）ボタン（→*別冊「はじめに」手順5*）
再生時：ボタン（28）

4 （画面表示/バックライトオン/オフ）ボタン（23）

5 撮影時：MOVIE（ムービー）ボタン（→*別冊「はじめに」手順5*）
再生時：ボタン（30）

6 /（画像サイズ/削除）ボタン（→*別冊「はじめに」手順4、6*）

7 MENU（メニュー）ボタン（33）

8 RESET（リセット）ボタン（84）

9 PHOTO（フォト）ボタン（27、→*別冊「はじめに」手順5*）

10 HYBRID（ハイブリッド）スイッチ（→*別冊「はじめに」手順5*）

11 MODE（モード）ボタン（27）

12 MOVIE（ムービー）ボタン（27、→*別冊「はじめに」手順5*）

13 5SEC（セカンド）スイッチ（→*別冊「はじめに」手順5*）

14 コントロールボタン
メニューオン時：▲/▼/◀/▶/●（→*別冊「はじめに」手順2*）
メニューオフ時：///（→*別冊「はじめに」手順5*）

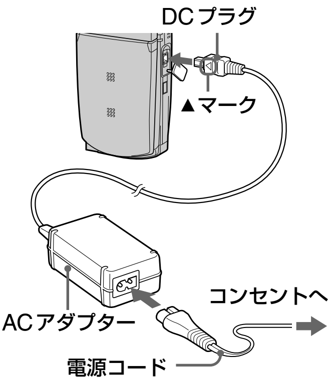
15 シャトル（27、→*別冊「はじめに」手順6*）

16 撮影時：ズーム（W/T）ボタン（→*別冊「はじめに」手順5*）
再生時：Q/⊕（再生ズーム）ボタン/
▦（インデックス）ボタン（→*別冊「はじめに」手順6*）

17 POWER ボタン（→*別冊「はじめに」手順2*）

18 ⚡/CHG：フラッシュチャージランプ（→*別冊「はじめに」手順1*）
REC：撮影モードランプ（緑）（→*別冊「はじめに」手順5*）
PLAY：再生モードランプ（緑）（→*別冊「はじめに」手順6*）

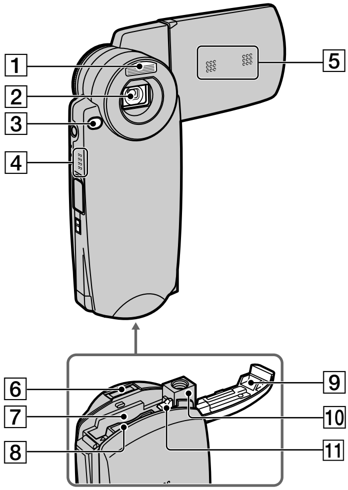
19 DC IN端子
サイバーショットステーションを使わずに充電するときや、コンセントの電源で本機を使うときは、本機にAC-LS5（付属）を接続します。



20 DC IN端子カバー

21 リストストラップ取付部（→*別冊「はじめに」*）

22 アクセスランプ（→*別冊「はじめに」手順4*）



1 フラッシュ（→*別冊「はじめに」手順5*）

2 レンズ

3 セルフタイマーランプ（→*別冊「はじめに」手順5*）/AF イルミネーター（53）

4 スピーカー

5 マイク

6 マルチ接続端子

7 バッテリー挿入口（→*別冊「はじめに」手順1*）

8 "メモリースティックデュオ" 挿入口（→*別冊「はじめに」手順3*）

9 バッテリー/"メモリースティックデュオ" カバー（→*別冊「はじめに」手順1、3*）

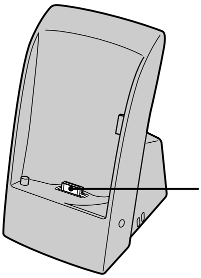
10 三脚用ネジ穴

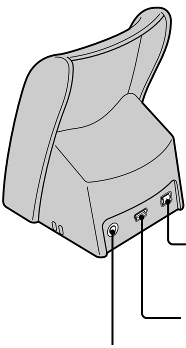
三脚を取り付けるときは、ネジの長さが5.5mm未満の三脚を使う。
ネジの長さが5.5mm以上の三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

11 バッテリー取りはずしつまみ(→*別冊「はじめに」手順1*)

サイバーショットステーション

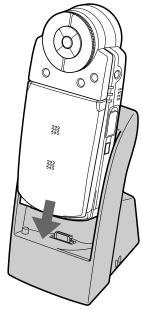
バッテリーの充電、テレビやパソコンにつなぐときなどに使用します。





取り付ける

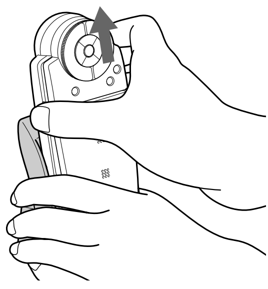
図のように本機を取り付けてください。



- 本機を奥まで確実に取り付けてください。

取りはずす

図のように本機とサイバーショットステーションを持って取りはずしてください。



- 本機をサイバーショットステーションに取り付ける/取りはずすときは、必ず本機の電源を切ってください。

画面の表示

カッコ内の数字はページ数。

撮影モード時

撮影スタンバイ中

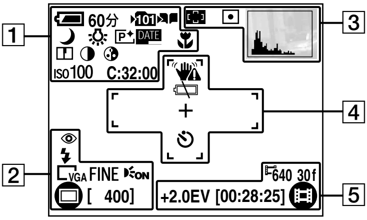


PHOTO ボタン半押し時



動画撮影時



1

表示	意味
60分	バッテリー残量（→*別冊「はじめに」手順1*）
101	記録フォルダ（54）
	アルバム（30）
W T ×1.3 ×1.3	ズーム（51、→*別冊「はじめに」手順5*）
	カメラモード（シーンセレクション）（35） カメラモード（プログラム）（35）
WB	ホワイトバランス（40）
	ピクチャーエフェクト（43）
DATE	日付/時刻表示（52）
	マクロ（→*別冊「はじめに」手順5*）
	シャープネス（44）
	コントラスト（43）
	彩度（43）
ISO100	ISO 感度（40）
C:32:00	自己診断表示（96）

2

表示	意味
	赤目軽減(52)
SL	フラッシュモード(→*別冊「はじめに」手順5*)
5M 3:2 3M 1M VGA	画像サイズ(→*別冊「はじめに」手順4*)
FINE STD	画質(41)
ON	AFイルミネーター(53)
M BRK S	静止画撮影モード(41、→*別冊「はじめに」手順5*)
400	撮影残枚数(24)
DPOF (左の画面イラストには出ていません)	メニュー/ガイドメニュー(33) • メニュー/ガイドメニューは、MENUボタンを押すと、表示/非表示が切り換わります。

3

表示	意味
	AF測距枠表示(38)
0.5m	フォーカスプリセット(38)
	測光モード(→*別冊「はじめに」手順5*)
	ヒストグラム(23、37)

4

表示	意味
	手ぶれ警告(11) • 光量不足のため、手ぶれが起こりやすい状況を示しています。表示されていても撮影は可能ですが、光量を増やすためにフラッシュを使ったり、三脚などで本機をしっかりと固定することをおすすめします。
	バッテリープリエンド(26、96)
	AF測距枠(38)
+	スポット測光照準(→*別冊「はじめに」手順5*)
	セルフタイマー(→*別冊「はじめに」手順5*)

5

表示	意味
640 30f 320 30f 320 15f	動画サイズ(→*別冊「はじめに」手順4*)
+2.0EV	EV補正値(37)
[00:28:05]	最大記録可能時間(25)
	動画撮影モード(→*別冊「はじめに」手順5*)

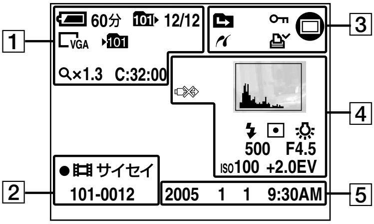
6

表示	意味
●	AE/AFロック(→*別冊「はじめに」手順5*)
+2.0EV	EV補正値(37)
NR	NRスローシャッター • シャッタースピードが1/6秒またはそれよりも遅くなったとき(ISO64/100/200時)、および1/25秒またはそれよりも遅くなったとき(ISO400時)、自動的にNRスローシャッター機能が働き、画像ノイズを低減します。
2"	シャッタースピード
F3.5	絞り値

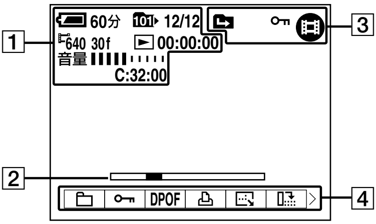
7

表示	意味
+2.0EV	EV補正値(37)
●	動画撮影
●●●●●	5秒REC(→*別冊「はじめに」手順5*)
00:00:02	記録時間(25)

静止画再生時



動画再生時



1

表示	意味
60分	バッテリー残量（→*別冊「はじめに」手順1*）
101 /	再生フォルダ（45）/アルバム再生（30）
101	記録フォルダ（54）
12/12	画像番号/再生フォルダ内画像枚数
5M 3:2 3M 1M VGA 640 30f 320 30f 320 15f 640 2f 320 2f 320 1f	画像サイズ（→*別冊「はじめに」手順4*）
▶/■/▶▶	再生/停止/スライドショー早送り（28、30、→*別冊「はじめに」手順6*）
▶▶1/▶▶2/▶▶3 ◀◀1/◀◀2/◀◀3	早送り倍速/巻き戻し倍速
00:00:12	カウンター（→*別冊「はじめに」手順6*）
コマ再生 12/16 ▶/II	コマ再生（41）
×1.3	再生ズーム（→*別冊「はじめに」手順6*）
音量	音量（→*別冊「はじめに」手順6*）
C:32:00	自己診断表示（96）

2

表示	意味
● サイセイ	ハイブリッド再生（→*別冊「はじめに」手順6*）
101-0012	フォルダ-ファイル番号（45）
	再生バー（→*別冊「はじめに」手順6*）

3

表示	意味
	フォルダ移動（45） • アルバムの再生時は表示されません。
	プロテクト（46）
	PictBridge接続（78）
	プリント予約マーク（81）
	静止画撮影モード（41、→ *別冊「はじめに」手順5*）

4

表示	意味
	USBケーブル抜き禁止（79）
	ヒストグラム（23、37） • 表示不能のときは ⊗ が表示されます。
	フラッシュ
	測光モード（→ *別冊「はじめに」手順5*）
WB AWB	ホワイトバランス（40）
500	シャッタースピード
F4.5	絞り値
ISO100	ISO感度（40）
+2.0EV	EV補正値（37）
DPOF （左の画面イラストには出ていません）	メニュー/ガイドメニュー（33）

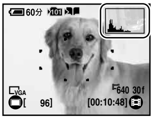
5

表示	意味
2005 1 1 9:30AM	画像の記録日時（52）

画面表示を切り換える

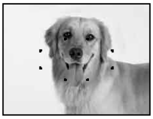
□（画面表示/バックライトオン/オフ）ボタンを押すたびに、液晶画面の表示が以下のように切り換わります。

ヒストグラム表示オン



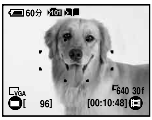
ヒストグラム（37ページ）
再生時は画像情報も表示

画面表示オフ



バックライトオフ

画面表示オン



- 下記の場合、ヒストグラムは表示されません。
  - 撮影時：メニュー表示時/動画時/画像サイズが3:2のとき/デジタルズーム領域での撮影時
  - 再生時：メニュー表示時/インデックス再生時/再生ズーム時/静止画回転時/マルチ連写再生時/動画時/スライドショー再生時
- 撮影時と再生時のヒストグラムは、下記のとき大きく異なります。
  - フラッシュ発光したとき
  - シャッタースピードが遅いとき、または速いとき
- 他機で撮影した画像はヒストグラムが表示されないことがあります。
- バックライトオフでご使用になると、バッテリーを長持ちさせることができます。
- スライドショーの再生時、画面表示はオフになりますが、再生中に□（画面表示/バックライトオン/オフ）ボタンを押すと、画面表示をオンにすることもできます。

静止画の記録可能枚数と動画の記録時間

本機でフォーマットした"メモリースティック デュオ"に記録できる撮影枚数、時間の目安は次のとおりです。記録枚数/時間は撮影状況によって異なる場合があります。

静止画の記録枚数(画質　上段:[ファイン]、下段[スタンダード])(単位:枚)

サイズ＼容量	32MB	64MB	128MB	256MB	512MB	1GB	2GB
5M	12	25	51	92	188	384	789
	23	48	96	174	354	722	1482
3:2	12	25	51	92	188	384	789
	23	48	96	174	354	722	1482
3M	20	41	82	148	302	617	1265
	36	74	149	264	537	1097	2250
1M	50	101	202	356	725	1481	3038
	93	187	376	649	1319	2694	5524
VGA	196	393	789	1427	2903	5927	12153
	490	984	1974	3569	7259	14819	30383

- 撮影モードが[通常撮影]のときの枚数。
- [マルチ連写]の画像サイズは、1Mとなります。
- 静止画の撮影残枚数が9999枚より多いときは、画面に「>9999」と表示されます。
- 撮影した画像サイズをあとで変更できます([リサイズ]、48ページ)。

ハイブリッド撮影時の静止画の記録枚数
(画質　上段:[ファイン]、下段[スタンダード])(単位:枚)

サイズ＼容量	32MB	64MB	128MB	256MB	512MB	1GB	2GB
5M	9	18	37	67	138	282	578
	14	28	57	103	210	429	880
3:2	9	18	37	67	138	282	578
	14	28	57	103	210	429	880
3M	12	25	51	93	191	389	799
	17	36	72	129	263	538	1104
1M	20	41	83	148	302	617	1265
	25	51	102	183	372	759	1558
VGA	29	59	119	216	439	898	1841
	32	65	131	237	483	987	2025

- [ハイブリッド撮影]が[通常]のときの枚数。

動画の記録時間（単位：時：分：秒）

容量 / サイズ	32MB	64MB	128MB	256MB	512MB	1GB	2GB
640（30fps）	0:01:29	0:02:59	0:05:59	0:10:49	0:22:01	0:44:57	1:32:10
320（30fps）	0:04:45	0:09:34	0:19:12	0:34:43	1:10:37	2:24:10	4:55:36
320（15fps）	0:16:37	0:33:24	1:07:00	2:01:08	4:06:24	8:23:01	17:11:20

- 画像サイズ・画質については、13ページをご覧ください。
- 1回の撮影で記録できる時間は2時間までです。
- 本機以外で撮影した動画の再生は保証しません。
- 当社の従来モデルで撮影した画像を再生すると、実際の画像サイズと異なって表示される場合があります。

バッテリー使用時間と撮影/再生枚数

下の表は撮影モードを[通常撮影]にし、満充電した付属のバッテリーで温度25℃の環境で使用した場合の目安です。また、撮影/再生枚数は"メモリースティック デュオ"を交換しながら撮影/再生したときの目安です。ご使用の状況によって記載より少ない数値になる場合があります。

- 使用回数や経年変化により、バッテリー容量は低下します（101ページ）。
- 次のような場合は使用時間と撮影/再生枚数は、表示よりも少なくなります。
  - 周囲が低温のとき
  - フラッシュ使用時
  - 電源の入/切を繰り返したとき
  - ズームを多用したとき
  - [LCDバックライト]が[明]のとき
  - バッテリーの容量が低下したとき

静止画撮影時

	LCDバックライト	撮影枚数	使用時間
通常撮影	オン	約210枚	約105分
	オフ	約250枚	約125分
ハイブリッド撮影	オン	約130枚	約65分
	オフ	約160枚	約80分

- 撮影時の数値は以下の設定で撮影した数値。
  - (画質)：[ファイン]
  - 30秒ごとに1回撮影
  - 1回ごとにズームをW側、T側に交互にいっぱいにする
  - 2回に1度、フラッシュを発光する
  - 10回に1度、電源を入/切する
- 測定方法はCIPA規格による。
  （CIPA：カメラ映像機器工業会、Camera & Imaging Products Association）
- 画像サイズによって撮影枚数/使用時間が変化することはありません。

静止画再生時

使用時間
約100分

- スライドショーの[スピード]を[ふつう]にして、BGMを鳴らして再生した数値。

動画撮影時

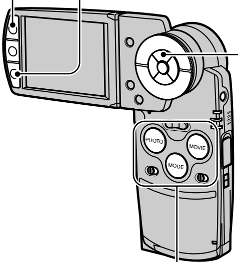
動画サイズ	LCDバックライトオン	LCDバックライトオフ
640（30fps）	約55分	約65分
320（15fps）	約65分	約75分

動画再生時

動画サイズ	使用時間
640（30fps）	約90分
320（15fps）	約100分

撮影/再生用ボタンを使いこなそう

操作したい機能に合わせて、撮影/再生用のボタンやシャトルを使用します。



ボタン

再生モード時、撮影した画像を音楽とともに連続再生します（スライドショーの使いかた→ 28ページ）。撮影モード時はPHOTOボタンと同じ機能になります。

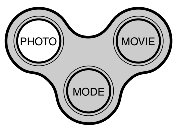
ボタン

再生モード時、通常再生とアルバムを切り換えます（アルバムの使いかた→ 30ページ）。撮影モード時はMOVIEボタンと同じ機能になります。



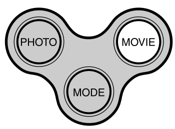
シャトル

再生中、シャトルを回して画像の送り戻しができます。
シャトルの傾きが大きいほど、スピードは増します（三段階）。
撮影時には、EV補正値を変えられます（37ページ）。



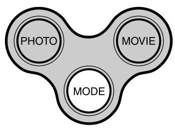
PHOTOボタン

静止画を撮影します。
→別冊「はじめに」手順5



MOVIEボタン

動画を撮影します。
→別冊「はじめに」手順5

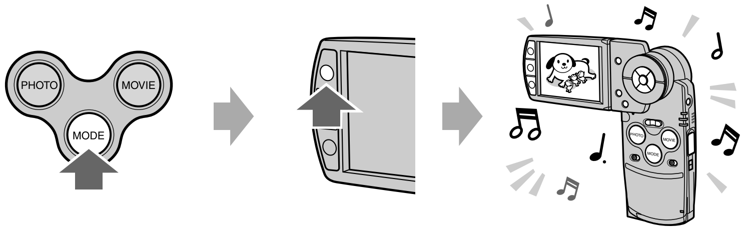


MODEボタン

撮影/再生モードを切り換えます。

スライドショーの使いかた

ボタンを押すだけで、音楽とともに画像を連続再生して楽しむことができます（スライドショー）。



① MODEボタンを押して、再生モードにする。　② ボタンを押す。　③ スライドショーがはじまります。

スライドショーの再生中にコントロールボタンの◀/▶を押すと、画像を戻す/送ることができます。

- ボタンを押したとき、通常再生時には"メモリースティック デュオ"内の画像を、アルバム再生時にはアルバム内の画像を再生します。
- ハイブリッド撮影した画像は静止画部分のみ再生されます。
- マルチ連写した画像は、1コマ目のみ表示されます。

スライドショーを一時停止するには

コントロールボタンの中央の●を押す。再開したいときは▶で[続行]を選び、●を押す。

スライドショーを終了するには

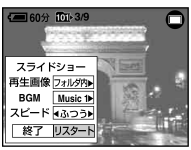
ボタンを押すか、中央の●を押して[終了]を選んだら、●を押す。

設定を調整する

スライドショーの設定をお好みで調節することができます。

① スライドショーの再生中にMENUボタンを押し、メニューを表示する。

② コントロールボタンの▲/▼で、設定するメニュー項目を選ぶ。



③ ◀/▶を押して、設定を選ぶ。

④ [リスタート]を選んで、●を押す。

設定することができる項目は以下のとおりです。
お買い上げ時の設定は✓で示しています。

再生画像

✓	**フォルダ内(この日)**	選択中のフォルダ内(アルバム再生時は"この日"内)の画像を順番に再生する。
	全て	"メモリースティック デュオ"内(アルバム再生時はアルバム内)のすべての画像を順番に再生する。

BGM

✓	Music 1	スライドショー再生時に再生するBGMを選択する。 • [Music 1] ～ [Music 4]は、保存されているBGMファイルの数に応じて表示されます。
	Music 2	
	Music 3	
	Music 4	
	切	

スピード

	はやい	画像の切り替わるスピードを設定する。スピードの設定によって、画像表示のエフェクトも変更される。ただし[ゆっくり]に設定すると、画像は通常再生時のように表示され、切り替え時のみエフェクトがかかります。
✓	**ふつう**	
	ゆっくり	

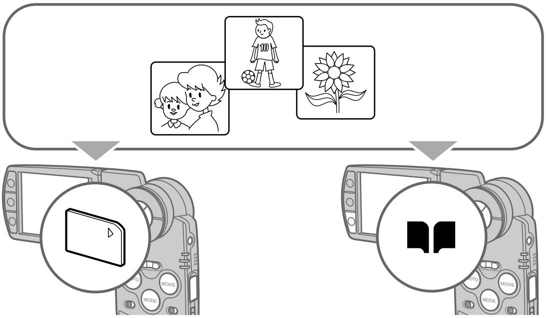
BGMファイルを追加/入れ替えをするには

お手持ちの音楽CDやMP3ファイルからお好みの曲(BGMファイル)を本機に転送し、スライドショーとともに再生させることができます。BGMファイルを転送するには、本機から"メモリースティック デュオ"を抜いてパソコンとUSB接続し、付属のソフトウェア「Music Transfer」を使用して行います。詳しくは72ページをご覧ください。

- 本機には4曲までBGMを記録することができます。(出荷時には、4曲分(Music1 ～ 4)すべてのBGMが用意されていますが、お好みの曲と入れ替えることができます。)
- 本機で再生できる曲の長さは、1曲最長180秒までです。
- BGMファイルが破損するなどして再生ができない場合は、[BGMフォーマット] (58ページ)を行って、あらためてBGMファイルを本機に転送しなおしてください。

アルバムの使いかた

画面に が表示されているときに画像を撮影すると、小サイズの同一画像が本機のアルバムにも保存されます（57ページ）。“メモリースティック デュオ”から画像を消去しても、アルバムに同じ画像を残しておくことができるので、いつでも撮影した画像を見ることができます。



- 静止画を撮影するとき、アルバムに記録される画像サイズはVGAです。静止画は最大1100枚まで記録できます。また動画を撮影するときは、最初の5秒間を下記のような小サイズで記録します。

動画サイズ	アルバムに記録される動画サイズ
640（30fps）	640（2fps）
320（30fps）	320（2fps）
320（15fps）	320（1fps）

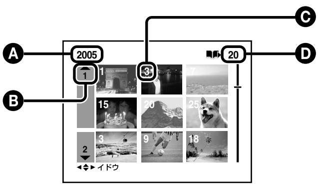
- ハイブリッド撮影したとき、前後の動画部分はアルバムに記録されません。

アルバムの画像を再生するには

① MODEボタンを押して、再生モードにする。

② を押す。

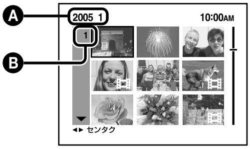
アルバム内の画像が撮影日ごとにまとめられた、“この日”という単位ごとにインデックス表示される。



A：撮影年
B：撮影月
C：撮影日
D：“この日”に記録された画像枚数

③ ▲/▼/◀/▶またはシャトルで“この日”を選び、中央の●を押す。

“この日”に含まれるすべての画像がインデックス表示される。



A：撮影年/月
B：撮影日

④ ▲/▼/◀/▶またはシャトルで再生したい画像を選び、●を押す。

画像が表示される。



• “この日”内のインデックス表示に戻るには、▦（インデックス）ボタンを押します。

アルバムの画像を削除するには

シングル画面で削除するには

① 削除したい画像を表示して、▦/🗑（削除）ボタンを押す。

② ▲で[削除]を選び、●を押す。

インデックス画面で削除するには

① 「アルバムの画像を再生するには」（30ページ）の手順③の状態で、▦/🗑（削除）ボタンを押す。（「アルバムの画像を再生するには」の手順②では、“この日”を削除することはできません。）

② ◀/▶で[選択]を選び、●を押す。

③ 削除したい画像を▲/▼/◀/▶またはシャトルで選び、●を押して🗑（削除）マークを付ける。

④ ▦/🗑（削除）ボタンを押す。

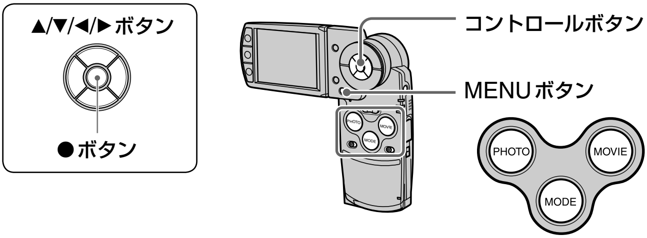
⑤ ▶で[実行]を選び、●を押す。

• “この日”内のすべての画像を削除するには、手順②で[日内全て]を選んで、●を押してください。次に▶で[実行]を選び、●を押します。

アルバムに記録された画像データについて

- **アルバムの容量がいっぱいになると、古い画像データから自動的に削除されます。保存しておく画像データは、プロテクトしてください（46ページ）。**
- プロテクトした画像でアルバムの容量がいっぱいになると、が点滅します。"メモリースティック デュオ"への撮影はできますが、アルバムには記録されません。アルバム内の不要な画像のプロテクトをはずすと、アルバムにも記録できます。
- アルバム内の画像データのバックアップをとるには、[コピー]（56ページ）の操作を行います。
- アルバム内の画像データを直接パソコンに転送するにはできません。[コピー]（56ページ）の操作を行ってデータを"メモリースティック デュオ"にコピーし、"メモリースティック デュオ"からパソコンに転送してください。
- "メモリースティック デュオ"やパソコン内のデータをアルバムにコピーすることはできません。
- "メモリースティック デュオ"に記録された画像をプロテクトしても、アルバム内の同一画像はプロテクトされません。またアルバムに記録された同一画像をプロテクトしても、"メモリースティック デュオ"内の画像はプロテクトされません（46ページ）。
- 通常再生で画像をトリミング、またはリサイズしても、アルバム内の画像は変更されません。
- アルバム内の画像には、以下の操作ができません。
  – プリント予約マークを付ける
  – プリントする
  – リサイズする
  – トリミングする

メニューの操作方法

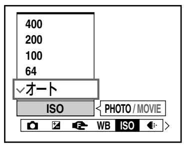


1 **本機の電源を入れ、MODEボタンでモードを選択する。**

メニューの （カメラ）の設定によって、使用できる項目が異なります。

2 **MENUボタンを押し、メニューを表示する。**

3 **コントロールボタンの◀/▶を押し、設定するメニュー項目を選ぶ。**



- 撮影モードのときは、[PHOTO/MOVIE]（静止画/動画）が表示される。[PHOTO/MOVIE]がグレーで表示されている項目は設定できません。
- 再生モードのときは、項目選択後に中央の●を押す。

4 **▲/▼を押して、設定を選ぶ。**

選ばれた設定が拡大表示されて設定される。

5 **MENUボタンを押し、メニュー表示を消す。**

- 項目表示の端に▲/▼/◀/▶マークが付いているときは、画面に表示されていない項目があります。コントロールボタンで移動すると表示できます。
- グレー表示の項目は設定できません。

メニュー項目一覧

モードによって、使用できるメニュー項目が異なります。

（●：使用可能）

撮影時に使うメニュー（35ページ）

	PHOTO		PHOTO/MOVIE	MOVIE
	オート	プログラム	シーンセレクション	
（カメラ）	●	●	●	–
（EV補正）	–	●	●	●
（フォーカス）	–	●	●	●
WB（ホワイトバランス）	–	●	●	●
ISO	–	●	●	–
（画質）	–	●	●	–
Mode（撮影モード）[1]	●	●	●	–
BRK（ブラケット設定）[2]	–	●	●[3]	–
（インターバル）[2]	–	●	●[3]	–
（フラッシュレベル）	–	●	●[3]	–
PFX（P.エフェクト）	–	●	●	●
（彩度）	–	●	–	–
（コントラスト）	–	●	–	–
（シャープネス）	–	●	–	–
（セットアップ）	●	●	●	●

再生時に使うメニュー（45ページ）

	通常再生	アルバム
（フォルダ）	●	–
（プロテクト）	●	●
DPOF	●	–
（プリント）	●	–
（リサイズ）	●	–
（回転）	●	●
（セットアップ）	●	–
トリミング[4]	●	–

[1] ハイブリッド撮影時、[Mode]（撮影モード）は[通常撮影]になります。

[2] ハイブリッド撮影時は選択できません。

[3] シーンセレクションのモードによっては使用できません。→36ページ

[4] 再生ズーム時のみ。

撮影時に使うメニュー

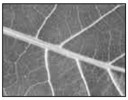
→操作方法は33ページ

お買い上げ時の設定は ✓ で示しています。
再生モードになっているときは、MODEボタンを押して、撮影モードに切り換えてください。

（カメラ）　PHOTO MOVIE

撮影状況に合わせて、撮影設定を選びます。

シーンセレクション



拡大鏡モード
被写体が液晶画面上に最大3.5倍に拡大されて表示される。



夜景モード*
暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮る。



夜景＆人物モード*
夜景をバックに手前の人物を撮る。



風景モード
遠景にピントを合わせ、遠くの風景などを撮る。



スノーモード
白い風景を明るく撮る。



ビーチモード
海や湖畔など、水の青さを鮮やかに撮る。



高速シャッターモード
明るい場所で、動きのある被写体を撮る。



打ち上げ花火モード*
打ち上げ花火をきれいに撮る。



キャンドルモード*
キャンドルライトの雰囲気を損なわずに撮る。

	プログラム	撮影に必要な調節を自動で行いますが、ピント合わせなどの調節を手動で行うこともできます。また、メニューで多彩な機能を設定できます。
✓	**オート**	自動設定で簡単に撮影できます。→*別冊「はじめに」手順5*

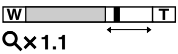
* シャッタースピードが遅くなるので、三脚のご使用をおすすめします。

 →操作方法は33ページ

拡大鏡モードについて

被写体までの距離	拡大表示倍率
1 cm	3.5倍
2 cm	2.2倍
5 cm	1.1倍
10 cm	0.5倍
20 cm	0.3倍

- ピントが合う被写体までの距離は約1cmから20cmです。
- 光学ズームはW側に固定され、使えません。
- ズームボタンを押すと、デジタルズームで拡大して撮影できます。デジタルズームを使うには、あらかじめ(セットアップ)メニュー画面の[デジタルズーム]を「入」に設定しておいてください。



シーンセレクション撮影について

シーンセレクションでは、シーンに合わせて最適な撮影ができるよう、機能設定の組み合わせがあらかじめ決まっています。●はお好みの設定ができる機能です。

	マクロ	フラッシュモード*	AF測距枠	フォーカスプリセット	ホワイトバランス	フラッシュレベル	高速連写*/マルチ連写*/ブラケット*
	–	⚡/(⚡)	●	–	●	●	–
	–	(⚡)	●	∞	●	–	–
	●	⚡SL	●	●	●	●	–
	–	⚡/(⚡)	●	∞	●	●	●
	●	⚡/(⚡)	●	●	●	●	●
	●	⚡/(⚡)	●	●	●	●	●
	●	⚡/(⚡)	●	●	●	●	●
	–	(⚡)	–	∞	☀	–	–
	–	(⚡)	中央重点AF	0.5m/1.0m 3.0m/7.0m	☀	–	–

* 動画撮影時は使用できません。

(EV補正) PHOTO MOVIE



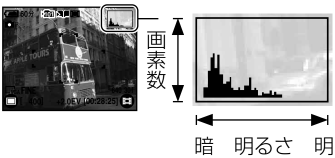
−方向　＋方向

露出を手動補正します。

	↑　＋2.0EV	＋側：画像が明るくなる。
✓	0EV	本機が自動設定した露出。
	↓　−2.0EV	−側：画像が暗くなる。

- 露出について→12ページ
- 1/3EV単位で露出値を調整できます。
- シャトルを使うと、メニューの操作なしで露出を調整できます。
- 被写体が極端に明るいときや暗いとき、またはフラッシュ撮影時は、補正が効かないことがあります。

ヒストグラムを使ってEV補正を行う



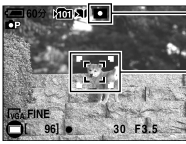
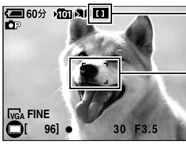
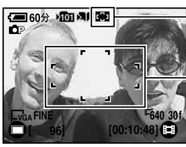
ヒストグラムは、明るさを示すグラフです。(画面表示/バックライトオン/オフ)ボタンを繰り返し押すと、画面内に表示されます。表示が右寄りなら明るめの画像、左寄りなら暗めの画像です。静止画を撮影するとき、ヒストグラムで露出を確認しながらEV補正します。

- 下記の場合もヒストグラムが表示されますが、EV補正はできません。
  - (カメラ)が[オート]のとき
  - 静止画シングル画面再生時

 →操作方法は33ページ

（フォーカス） PHOTO MOVIE

ピント合わせの方法を変更します。ピントが合いにくいときなどに使います。

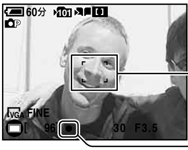
	∞（無限遠）	あらかじめ設定した距離にピントが合う。 （フォーカスプリセット） • 網やガラス越しの撮影など、オートフォーカスが効きにくいときに便利です。
	7.0 m	
	3.0 m	
	1.0 m	
	0.5 m	
	スポットAF（■）	非常に小さな被写体に自動ピント合わせする。 • 非常に小さな被写体や狭いエリアを狙ってピント合わせをするときに便利です。AFロックと併用して好きな構図で撮影が可能です。測距枠からはずれないように手ぶれにご注意ください。  AF測距枠表示 AF測距枠
	中央重点AF（[ ]）	画面中央付近の被写体に自動ピント合わせする。 • 中央部分の被写体をねらってピント合わせをするときに便利です。AFロックと併用して好きな構図で撮影が可能です。  AF測距枠表示 AF測距枠
✓	**マルチAF** **（マルチポイントAF）** **（■ 静止画のとき）** **（■ 動画のとき）**	画面全体を基準に、自動ピント合わせする。 • 被写体が中央にないときなどに便利です。  AF測距枠表示 AF測距枠

- AFとは、「Auto Focus」の略で、自動ピント合わせ機能のこと。
- ［フォーカスプリセット］の距離設定は多少の誤差を含みます。レンズを上や下に向けると誤差は大きくなります。
- 動画撮影時は、［マルチAF］をおすすめします。手ぶれに強いためです。
- デジタルズームやAFイルミネーターを使用するときは、中央付近の被写体を優先したAF動作になります。この場合、、 または は点滅し、AF測距枠は表示されません。
- シーンセレクションのモードによっては、選択できないものがあります（36ページ）。

ピントが合わないときは

被写体がフレーム（画面）端にある場合や、［中央重点AF］または［スポットAF］設定の場合、フレーム端の被写体にピントが合わない場合があります。この場合、以下の方法を使います。

① 被写体がAF測距枠内に入るように構図を変え、PHOTOボタンを半押ししてピントを合わせる（AFロック）。



AF測距枠

AE/AFロック表示

PHOTOボタンを押し込む前なら、何回でもやり直せます。

② AE/AFロック表示が点滅→点灯に変わったら、半押しのまま構図を戻し、PHOTOボタンを押し込んで撮影する。



WB（ホワイトバランス）

PHOTO MOVIE

画像の色がおかしいと感じたときなどに、撮影場所の光の状況に合わせて調整します。

	WB（フラッシュ）	フラッシュ光に合わせる。 • 動画のときは使用できません。
	（電球）	パーティー会場など、照明条件が変化するときや、スタジオなどのビデオライトに合わせる。
	（蛍光灯）	蛍光灯の光に合わせる。
	（曇天）	曇り空に合わせる。
	（太陽光）	屋外や、夜景/ネオン/花火/日の出/日没前後などに合わせる。
✓	オート	ホワイトバランスを自動調整する。

• ホワイトバランスについて→13ページ
• ちらつきのある蛍光灯下では、[ ]（蛍光灯）を選んでもうまく合わないことがあります。
• [WB]（フラッシュ）以外のときにフラッシュ発光して撮影すると、[ホワイトバランス]は[オート]になります。
• シーンセレクションのモードによっては、選択できないものがあります（36ページ）。

ISO

PHOTO MOVIE

光に対する感度をISOという単位で設定します。数値が大きいほど高感度になります。

	400	暗い場所や高速で移動する被写体には大きい値を、高画質で撮るには小さい値を設定する。
	200	
	100	
	64	
✓	オート	

• ISO感度について→12ページ
• 高感度になるほどノイズ感が増します。
• シーンセレクションのときは、[ISO]は[オート]になります。

◆(画質) PHOTO MOVIE

静止画の圧縮率を選びます。

✓	ファイン(FINE)	高画質(低圧縮)で記録する。
	スタンダード(STD)	標準画質(高圧縮)で記録する。

• 画質について→13ページ

Mode(撮影モード) PHOTO MOVIE

PHOTOボタンを押し込んだとき、連写するかしないかを設定します。

	マルチ連写(▣)	PHOTOボタンを押すと、1枚の静止画の中に16コマの画像を連続記録する。 • スポーツのフォームチェックなどに便利です。 • [インターバル](42ページ)で、コマ間のインターバル(間隔)を設定できます。
	ブラケット(BRK)	3通りの異なった露出で、静止画を3枚撮影する。 • 被写体の明るさによってうまく撮影できないときに、ブラケット撮影で露出を変えながら撮影すれば、撮影したあと最適な露出の画像を選ぶことができます。
	高速連写(▣)	PHOTOボタンを押し続けている間、最大4枚まで連写する。 • 「記録中」という表示が消えると次の画像を撮影できます。
✓	通常撮影	連写しない。

[マルチ連写]について

• マルチ連写した画像は、下記の操作で連続再生できます。
  一時停止/再開:コントロールボタンの●を押す。
  1コマずつ再生:一時停止状態で◀/▶を押す。●を押すと連続再生に戻る。
• [マルチ連写]では、以下の操作ができません。
  ーフラッシュ撮影
  ーハイブリッド撮影
  ー日付・時刻の挿入
  ー連写画像の分割/希望のコマのみの削除
  ー📷(カメラ)が[オート]のとき[インターバル]を[1/30]以外に設定すること
• マルチ連写した画像をパソコンで再生すると、撮影された16コマが1枚の画像として同時に表示されます。マルチ連写機能のないカメラで再生した場合も同様です。
• マルチ連写の画像サイズは1Mとなります。
• シーンセレクションのモードによってはマルチ連写できない場合があります(36ページ)。

[ブラケット]について

- フラッシュは ⚡(発光禁止)になります。
- フォーカスとホワイトバランスは、最初の1枚目に設定された値に固定されます。
- EV補正をしているときは(37ページ)、補正した明るさを基準に露出が変わり、撮影されます。
- 撮影の間隔は約0.36秒です。
- 被写体が明るすぎたり暗すぎたりするときは、設定した補正量で撮影できない場合があります。
- ハイブリッド撮影に設定しているときは、連写できません。
- シーンセレクションのモードによっては、ブラケット撮影できない場合があります(36ページ)。

[高速連写]について

- フラッシュは ⚡(発光禁止)になります。
- セルフタイマーで連写すると、最大4枚の連続撮影となります。
- バッテリーの残量が少ない、または"メモリースティック デュオ"の容量がいっぱいになると、連写は停止します。
- ハイブリッド撮影に設定しているときは、連写できません。
- シーンセレクションのモードによっては連写できない場合があります(36ページ)。

BRK（ブラケット設定）　PHOTO MOVIE

自動的に露出を変えて3枚の画像を連続して撮影できます。

	±1.0EV	露出値を上下に1.0EVずらして撮影する。
✓	±0.7EV	露出値を上下に0.7EVずらして撮影する。
	±0.3EV	露出値を上下に0.3EVずらして撮影する。

- シーンセレクションのモードによっては、[BRK（ブラケット設定)]が表示されません。

M（インターバル）　PHOTO MOVIE

[マルチ連写]（41ページ)のコマ間のインターバル(間隔)を設定します。

	1/7.5	• [Mode]が[マルチ連写]以外のときは設定できません(41ページ)。
	1/15	
✓	1/30	

- シーンセレクションのモードによっては、[M（インターバル)]が表示されません。

→操作方法は33ページ

⚡±(フラッシュレベル) PHOTO MOVIE

フラッシュの発光量を調節します。

	＋(⚡+)	＋側：発光量を増やす。
✓	**標準(⚡)**	
	－(⚡−)	－側：発光量を減らす。

- フラッシュモードの切り換え→*別冊「はじめに」手順5*
- シーンセレクションのモードによっては、フラッシュレベルの設定ができない場合があります(36ページ)。

PFX(P.エフェクト)(ピクチャーエフェクト) PHOTO MOVIE

設定してから撮影すると、特殊効果を加えて撮影できます。

	モノトーン(P✦)	画面を白黒にする。
	セピア(P✦)	古い写真のような色合いにする。
✓	**切**	特殊効果を加えない。

- 電源を切ったあとは設定が保持されません。

(彩度) PHOTO MOVIE

撮影する画像の鮮やかさ(彩度)を変えます。

	＋()	＋側：鮮やかな色合いにする。
✓	**標準**	
	－()	－側：落ち着いた色合いにする。

◑(コントラスト) PHOTO MOVIE

撮影する画像の明暗比(コントラスト)を変えます。

	＋(◑)	＋側：画像の明暗比が大きくなる。
✓	**標準**	
	－(◑)	－側：画像の明暗比が小さくなる。

→操作方法は33ページ

(シャープネス)

PHOTO MOVIE

撮影する画像の鮮鋭度(シャープネス)を変えます。

	＋()	＋側：画像のくっきり感が増す。
✔	**標準**	
	−()	−側：落ち着いた画像にする。

(セットアップ)

50ページをご覧ください。

再生時に使うメニュー

→操作方法は33ページ

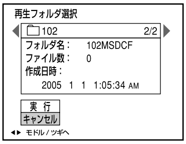
お買い上げ時の設定は ✓ で示しています。
撮影モードになっているときは、MODEボタンを押して、再生モードに切り換えてください。

（フォルダ）

再生したい画像の入っているフォルダを選びます。

	実行	下記の手順をご覧ください。
✓	**キャンセル**	フォルダ選択をやめる。

① コントロールボタンの◀/▶で再生したい画像が入っているフォルダを選ぶ。



② ▲を押して[実行]を選び、中央の●を押す。

フォルダについて

本機は撮影した画像を"メモリースティック デュオ"の特定のフォルダに記録します(54ページ)。このフォルダを変更したり、新規で作成したりできます。

- フォルダを作成するには→[記録フォルダ作成]（54ページ）
- 記録先のフォルダを変更するには→[記録フォルダ変更]（55ページ）
- "メモリースティック デュオ"に複数のフォルダがあるときは、フォルダ内の最初/最後の画像に下記のマークが表示されます。
  ：前のフォルダに移動可能
  ：後ろのフォルダに移動可能
  ：前/後のフォルダに移動可能

→操作方法は33ページ

⊶（プロテクト）

画像を誤って消さないように保護（プロテクト）します。プロテクトするとアルバム内の画像の自動消去が防げます。

✓	**プロテクト（⊶）**	下記の手順をご覧ください。
	終了	プロテクト操作を終了する。

シングル画面でプロテクトするには

① プロテクトしたい画像を表示する。

② MENUボタンを押し、メニューを表示する。

③ コントロールボタンの◀/▶で[⊶]（プロテクト）を選び、中央の●を押す。
画像がプロテクトされ、⊶マークが付く。



④ 他の画像もプロテクトしたいときは、◀/▶で画像を表示し、中央の●を押す。

インデックス画面でプロテクトするには

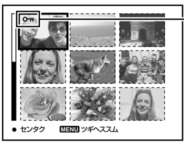
① ▦（インデックス）ボタンを押して、インデックス画面にする。

② MENUボタンを押し、メニューを表示する。

③ コントロールボタンの◀/▶で[⊶]（プロテクト）を選び、中央の●を押す。

④ ◀/▶で[選択]を選び、中央の●を押す。

⑤ プロテクトしたい画像を▲/▼/◀/▶で選び、中央の●を押す。
画像に緑色の⊶マークが付く。



⑥ 他の画像もプロテクトしたいときは、手順⑤を繰り返す。

⑦ MENUボタンを押す。

⑧ ▶で[実行]を選び、中央の●を押す。
⊶マークが白色に変わり、プロテクトされる。

- フォルダ内の全画像をプロテクトするには、手順④で[フォルダ内全て]を選んで中央の●を押し、次に▶で[入]を選んで●を押す。
- アルバム内の画像をインデックス表示画面でプロテクトするときは、「アルバムの画像を再生するには」(30ページ)の手順③でMENUボタンを押して[⊶]を表示し、●を押す。そのあとは上記の手順④以降の操作を行う。"この日"内の画像すべてをプロテクトするときは、[⊶]を表示して、●を押す。[日内全て]を▶で選択して●を押し、次に▶で[入]を選んで●を押す。

プロテクトを解除するには

シングル画面で解除するには

「シングル画面でプロテクトするには」の手順③または④で中央の●を押す。

インデックス画面で解除するには

① 「インデックス画面でプロテクトするには」の手順⑤で解除したい画像を選ぶ。

② 中央の●を押して、⊶マークをグレーにする。

③ 同じ操作を解除したいすべての画像について繰り返す。

④ MENUボタンを押して、▶で[実行]を選び、中央の●を押す。

ファルダ内全画像のプロテクトを解除するには

「インデックス画面でプロテクトするには」の手順④で[フォルダ内全て]を選んで中央の●を押し、次に▶で[切]を選んで●を押す。

- フォーマットするとプロテクトした画像も削除され、元に戻せません。
- プロテクトには時間がかかる場合があります。

DPOF

プリントしたい画像にプリント予約マーク（⎙✓）を付けます（81ページ）。

⎙（プリント）

77ページをご覧ください。

（リサイズ）

撮影した画像のサイズを変えて（リサイズ）、新しいファイルとして記録します。元の画像はそのまま残ります。

	5M	[画像サイズ]の選択の目安→*別冊「はじめに」手順4*
	3M	
	1M	
	VGA	
✓	**キャンセル**	リサイズを中止する。

① サイズを変更したい画像を表示する。
② MENUボタンを押し、メニューを表示する。
③ コントロールボタンの◀/▶で[ ]（リサイズ）を選び、中央の●を押す。
④ ▲/▼で変更したいサイズを選び、中央の●を押す。
　リサイズした画像が選択中の記録フォルダに一番新しいファイルとして記録される。

- [画像サイズ]→*別冊「はじめに」手順4*
- 動画、マルチ連写画像、アルバム内の画像はリサイズできません。
- 小さいサイズから大きいサイズにリサイズすると、画像が劣化します。
- リサイズして画像サイズを3:2にすることはできません。
- 画像サイズを3:2にして撮影した画像をリサイズすると、画像の上下に黒帯が入ります。

（回転）



静止画像を左右に回転します。

	↶ ↷	画像を回転する。下記の手順をご覧ください。
	実行	画像の回転を確定する。下記の手順をご覧ください。
✓	**キャンセル**	[回転]を中止する。

① 回転させたい画像を表示する。
② MENUボタンを押し、メニューを表示する。
③ コントロールボタンの◀/▶で[回転アイコン]（回転）を選び、中央の●を押す。
④ ▲で[↶ ↷]を選び、◀/▶で画像を回転させる。
⑤ ▲/▼で[実行]を選び、中央の●を押す。

- プロテクトされている画像、動画、マルチ連写画像は回転できません。
- ハイブリッド撮影した画像を回転しても、再生時には回転していない画像が再生されます。
- 他機で撮影した画像は、本機では回転できないことがあります。
- パソコンで画像を見るとき、ソフトウェアによっては画像の回転情報が反映されない場合があります。

(セットアップ)

50ページをご覧ください。

トリミング

再生ズーム（→*別冊「はじめに」手順6*）した画像を新しいファイルとして記録します。

	トリミング	下記の手順をご覧ください。
✓	**戻る**	トリミングを中止する。

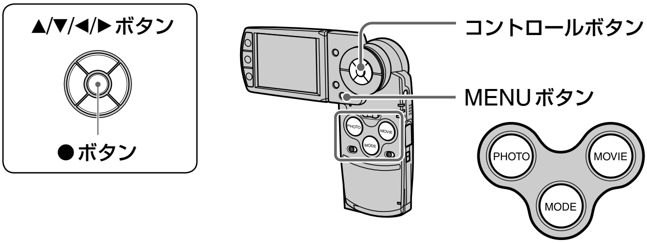
① 再生ズーム中にMENUボタンを押し、メニューを表示する。
② コントロールボタンの▶で[トリミング]を選び、中央の●を押す。
③ ▲/▼で画像サイズを選び、中央の●を押す。
画像が記録され、拡大前の画像表示に戻る。

- トリミングした画像は一番新しいファイルとして記録され、元の画像はそのまま残ります。
- トリミングした画像は画質が劣化する場合があります。
- 3:2の画像サイズにトリミングすることはできません。
- アルバム内の画像をトリミングすることはできません。

メニューを使う

セットアップ画面の操作方法

(セットアップ)画面を使うと、本機のお買い上げ時の設定を変更できます。



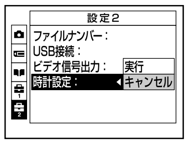
1 本機の電源を入れ、MODEボタンでモードを選択する。

2 MENUボタンを押し、メニューを表示する。

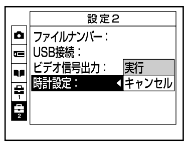
3 コントロールボタンの▶を押し、(セットアップ)を選ぶ。

4 コントロールボタンの▲/▼/◀/▶を押し、設定したい項目を選ぶ。

選ばれた設定の枠が黄色に変わる。



5 中央の●を押して設定(実行)する。



(セットアップ)画面を終了するには、MENUボタンを押す。

(セットアップ)画面からメニューに戻るには、コントロールボタンの◀を繰り返し押す。

設定変更を中止するには

[キャンセル]が選択項目にある場合は, それを選んでコントロールボタン中央の●を押す。ない場合は、設定しなおす。

• 設定は、電源を切ってからも保持されます。

カメラ

→操作方法は50ページ

お買い上げ時の設定は✓で示しています。

ハイブリッド撮影

ハイブリッド撮影時に、動画を静止画撮影の前後に記録するか、前のみに記録するかを選びます。

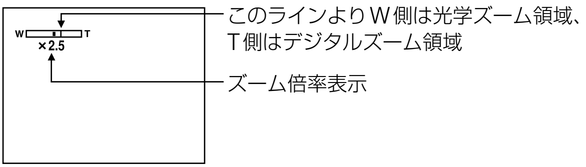
✓	**通常**	静止画撮影の前に約5秒間、後ろに約3秒間の動画を同時に記録します。
	前のみ	静止画撮影の前に約5秒間の動画を同時に記録します。

デジタルズーム

デジタルズームの設定をします。[入]に設定すると、本機はレンズの倍率(3倍)まで光学ズームを行い、それを超えるとデジタルズームを行います。

	入(Q×)	画像サイズの設定に関わらず、最大6倍までデジタルズームしますが、画像は劣化します。
✓	**切(×)**	デジタルズームを使わない。

• ズームボタンを押すと、下記のようなズーム倍率が表示されます。



• デジタルズームの最大倍率は、光学ズームの倍率を含みます。
• デジタルズーム時はAF測距枠は表示されません。、 または が点滅し、中央付近の被写体を優先したAF動作になります。
• 光学ズーム領域とデジタルズーム領域の境でズーム動作が一旦止まることがあります。

→操作方法は50ページ

日付/時刻

撮影時に画像に挿入する日付/時刻情報の形式を設定します。設定後、撮影します。

• 撮影時は日時は表示されず、DATE が表示されます。再生時に画面右下に赤色で表示されます。

	日時分	撮影日時分を入れる。
	年月日	撮影年月日を入れる。 • *→別冊「はじめに」手順2*で選んだ表示順に挿入されます。
✓	**切**	日時を入れない。

• 動画 / マルチ連写では、日付/時刻は挿入できません。
• 挿入した日時は、後で消去できません。

赤目軽減





フラッシュ撮影時、目が赤く写るのを軽減します。設定後、撮影します。

	入（👁）	赤目軽減する。 • フラッシュが2回以上予備発光します。
✓	**切**	赤目軽減しない。

• シャッターが切れるまで約1秒かかるので、カメラをしっかり構えて手ぶれを防いでください。また、被写体が動かないようにしてください。
• 赤目軽減の効果には個人差があります。また被写体までの距離や、予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が表れにくいことがあります。

→操作方法は50ページ

AFイルミネーター

AFイルミネーターとは、暗所でフォーカスを合わせるための補助光です。PHOTOボタンを半押ししてフォーカスがロックされるまでの間、自動的に赤い補助光が出て、フォーカスを合わせやすくします。このとき画面に が表示されます。

✓	**オート**	AFイルミネーターを使う。
	切	使わない。

- AFイルミネーターを発光しても、充分な光が被写体に届かない場合（推奨距離：約1.8 m（ズーム：W）まで/約2.1 m（ズーム：T）まで）やコントラストが弱い被写体を撮影する場合、フォーカスは合いません。
- AFイルミネーターの光が画像の中心からずれる場合がありますが、光が被写体に届いていれば、フォーカスは合います。
- フォーカスプリセット（38ページ）のとき、AFイルミネーターは使えません。
- AF測距枠は表示されません。、 または が点滅し、中央付近の被写体を優先したAF動作になります。
- シーンセレクションが（夜景モード）、（風景モード）、（高速シャッターモード）、（打ち上げ花火モード）に設定されているときは、AFイルミネーターは発光しません。
- AFイルミネーターは明るい光です。安全には問題ありませんが、至近距離で直接人の目に当たらないようにお使いください。

オートレビュー

静止画撮影直後に、記録した画像を約2秒間画面に表示します（ハイブリッド撮影が［通常］に設定されているときは表示されません）。

	入	オートレビューを使う。
✓	**切**	使わない。

メモリースティックツール

→操作方法は50ページ

“メモリースティック デュオ”が本機に入っている場合のみ表示されます。
お買い上げ時の設定は ✓ で示しています。

フォーマット

“メモリースティック デュオ”をフォーマット(初期化)します。市販の“メモリースティック デュオ”はフォーマット済みのため、フォーマットの必要はありません。

- フォーマットすると、プロテクトしてある画像も含めて、すべてのデータが消去され、元に戻せません。

	実行	下記の手順をご覧ください。
✓	**キャンセル**	フォーマットを中止する。

① コントロールボタンの▲で[実行]を選び、中央の●を押す。
「メモリースティックのデータがすべて消去されます　よろしいですか？」というメッセージが表示される。

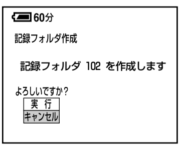
② ▲で[実行]を選び、中央の●を押す。
フォーマットが実行される。

記録フォルダ作成

“メモリースティック デュオ”の中に新しいフォルダを作成します。

	実行	下記の手順をご覧ください。
✓	**キャンセル**	記録フォルダ作成を中止する。

① コントロールボタンの▲で[実行]を選び、中央の●を押す。
記録フォルダ作成画面が表示される。



② ▲で[実行]を選び、中央の●を押す。
既存最大番号＋1のフォルダが作成される。次に撮影する画像は新しく作成したフォルダに記録される。

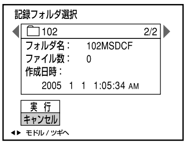
- フォルダについては、45ページで説明しています。
- フォルダを新規作成していない場合は、「101」フォルダが記録フォルダとして設定されます。
- フォルダは最高で「999」まで作成できます。
- 画像は、違うフォルダを選ぶか、更に新しいフォルダを作成するまでそのフォルダに記録されます。
- 1度作成したフォルダを本機では削除できないため、パソコンなどで削除してください。
- 一つのフォルダに記録できる画像は最大4000枚のため、フォルダ容量を超えると、自動的に新しいフォルダが作成されます。
- 「画像ファイルの保存先とファイル名」（69ページ）もご覧ください。

記録フォルダ変更

画像を記録するフォルダを変更します。

	実行	下記の手順をご覧ください。
✓	**キャンセル**	記録フォルダ変更を中止する。

① コントロールボタンの▲で［実行］を選び、中央の●を押す。
記録フォルダ選択画面が表示される。



② ◀/▶で記録フォルダを選び、▲で［実行］を選び、中央の●を押す。

- 「100」フォルダは記録フォルダとして選べません。
- 記録した画像を別のフォルダには移動できません。

→操作方法は50ページ

コピー

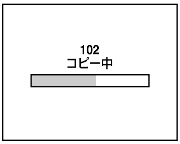
アルバムに記録した画像を、“メモリースティック デュオ”に一括コピーします。バッテリーご使用時はこのメニューは表示されません。コピーしたいときはACアダプターをご使用ください。

	実行	下記の手順をご覧ください。
✓	**キャンセル**	コピーを中止する。

① 64MB以上の容量がある“メモリースティック デュオ”を本体に入れる。

② コントロールボタンの▲で[実行]を選び、中央の●を押す。
「アルバムのデータがすべてコピーされます　よろしいですか？」というメッセージが表示される。

③ ▲で[実行]を選び、中央の●を押す。
コピーが実行される。



- 画像ごとのコピーはできません。
- “メモリースティック デュオ”内のフォルダを選ぶことはできません。
- アルバム内のデータを“メモリースティック デュオ”にコピーしても、アルバム内のデータは削除されません。
- 撮影後、記録フォルダ/再生フォルダの画像をアルバムにコピーすることはできません。
- アルバム内の画像を再生するとき、表示される画像の順番が、“メモリースティック デュオ”上にコピーされた画像の順番と一致しないことがあります。

アルバムツール

→操作方法は50ページ

お買い上げ時の設定は ✓ で示しています。

書きこみ

画像を撮影するときに、小サイズの同一画像をアルバムに記録するかどうか設定します。

書きこみ

✓	**入**	撮影時、小サイズの同一画像をアルバムに記録する。
	切	アルバムに記録しない。

- アルバムについて詳しくは、「アルバムの使いかた」（30ページ）をご覧ください。

フォーマット

アルバムをフォーマット（初期化）します。

- フォーマットすると、プロテクトしてある画像も含めて、すべてのデータが消去され、元に戻せません。

	実行	下記の手順をご覧ください。
✓	**キャンセル**	フォーマットを中止する。

① コントロールボタンの▲で［実行］を選び、中央の●を押す。
「アルバムのデータがすべて消去されます　よろしいですか？」というメッセージが表示される。

② ▲で［実行］を選び、中央の●を押す。
フォーマットが実行される。

設定1

→操作方法は50ページ

お買い上げ時の設定は✓で示しています。

操作音

本機を操作したときに鳴るブザーを設定します。

	シャッター	PHOTOボタンを押したときのみ、シャッター音が鳴る。
✓	**入**	コントロールボタン/PHOTOボタンを押したときなどに、ブザー/シャッター音が鳴る。
	切	音は鳴らない。

BGMフォーマット

スライドショーでBGMが再生できない場合は、BGMファイルが壊れている可能性があります。その場合はまずBGMフォーマットを行います。そして本機から"メモリースティック デュオ"を抜いて、本機とパソコンをUSB接続します。それから付属のソフトウェア「Music Transfer」を使用して、BGMファイルを本機に転送しなおしてください。

• BGMファイルの書きこみ領域をフォーマットすると、すべてのBGMファイルが消去され、元に戻せません。

	実行	下記の手順をご覧ください。
✓	**キャンセル**	フォーマットを中止する。

① コントロールボタンの▲で[実行]を選び、中央の●を押す。
「すべてのデータが消去されます　よろしいですか？」というメッセージが表示される。

② ▲で[実行]を選び、中央の●を押す。
フォーマットが実行される。

LCDバックライト

LCD（画面）バックライトの明るさを設定します（バッテリー使用時のみ）。

	明	明るくする。
✓	**標準**	

• [明]に設定すると、バッテリーの消耗は早くなります。

設定2

→操作方法は50ページ

お買い上げ時の設定は ✓ で示しています。

ファイルナンバー

撮影画像のファイルナンバーの付けかたを設定します。

✓	**連番**	記録フォルダを変更したり、"メモリースティック デュオ"を取り換えても、ファイル番号を連続して付ける。（取り換えた"メモリースティック デュオ"内に最新ファイルより大きな番号のファイルがある場合は、既存の最大番号+1のファイル番号を付ける。）
	リセット	フォルダごとにファイル番号を0001から付ける。（記録フォルダ内にファイルがある場合は、既存最大番号＋1のファイル番号を付ける）。

USB接続

本機とパソコンまたはPictBridge対応プリンターをUSBケーブルで接続するときのモードを設定します。

	PictBridge	本機とPictBridgeプリンターを接続する（77ページ）。
	PTP	PTP（Picture Transfer Protocol）接続すると、コピーウィザードが自動的に起動し、本機に設定されている記録フォルダ内の画像をパソコンにコピーする。（WindowsXP、Mac OS Xに対応）
	Mass Storage	本機とパソコン、その他USB機器をMass Storage接続する（64ページ）。 • 本機に"メモリースティック デュオ"が入っているときは、"メモリースティック デュオ"内の画像が表示されます。入っていないときは、BGMファイルの書きこみ領域が表示されます。
✓	**オート**	本機とパソコン、またはPictBridge自動認識プリンターを接続する（64、78ページ）。 • [オート]で本機とPictBridge対応プリンターを接続できない場合は、[PictBridge]に設定しなおしてください。 • [オート]で本機とパソコン、その他のUSB機器を接続できない場合は、[Mass Storage]に設定しなおしてください。

ビデオ信号出力

接続するビデオ機器のカラーテレビ方式に合わせて設定します。

✓	NTSC	ビデオ信号出力をNTSCモードに設定する（日本、米国など）。
	PAL	ビデオ信号出力をPALモードに設定する（欧州など）。

時計設定

時刻を再設定します。

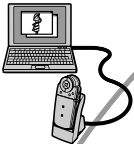
	実行	コントロールボタンの▲で［実行］を選び、中央の●を押す。その後、時計合わせの手順（→*別冊「はじめに」手順2*）を行う。
✓	**キャンセル**	時計設定を中止する。

Windowsパソコンでできること

Macintoshについては、「Macintoshをお使いのときは」をご覧ください（74ページ）。



まずはパソコンに画像を取り込もう！（63ページ）



画像をパソコンで見る

必要な準備

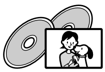
USBドライバをインストールする。

• WindowsXPでは不要です。

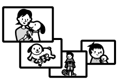
「PicturePackage」で活用の幅を広げよう！（71ページ）



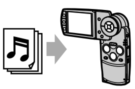
パソコン内の画像を見る



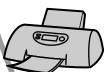
CD-Rに画像を保存する



スライドショーを自動作成する



「Music Transfer」でスライドショーのBGMを追加/入れ替える



プリントする

必要な準備

「PicturePackage」をインストールする（71ページ）。

パソコンの推奨環境

本機とつなぐパソコンは、下記の推奨環境が必要です。

画像を取り込むときの推奨環境

OS(工場出荷時にインストールされていること): Microsoft Windows 98/98SE/2000 Professional/Millennium Edition/XP Home Edition/XP Professional

- 上記のOSでもアップグレードされた場合や、マルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。

CPU: MMX Pentium 200 MHz以上

USB端子: 標準装備

ディスプレイ: 800×600ドット以上、High Color(16 bitカラー、65000色)以上

「PicturePackage」使用時の推奨環境

- 「Movie Player」(動画再生を行うソフトウェア)はWindows XP、2000のみにインストールされます。

必要なソフトウェア:Macromedia Flash Player 6.0以降、Windows Media Player 7.0以降、DirectX 9.0b以降。

サウンドカード:16 bitステレオサウンドカードおよびスピーカー

メモリ:64 MB以上(128 MB以上を推奨)

ハードディスク:インストール時に必要な容量:約500 MB

ディスプレイ:4 MBのVRAMを搭載したビデオカード(Direct Drawドライバに対応)

- スライドショーを自動作成する場合は(71ページ)、Pentium III 500 MHz以上のCPUが必要です。
- 本ソフトウェアはDirectXテクノロジーに対応しているため、DirectXのインストールが必要になることがあります。
- CD-Rに書き込みを行う場合には、記録デバイスを動作する環境が別途必要です。

動画(MPEG-4)再生時のご注意

本機で撮影された動画ファイル(MPEG-4)の再生には、MPEG-4に対応する専用ソフトまたは「PicturePackage」が必要です。(OSがWindowsXP、2000のときのみ、「PicturePackage」で動画ファイル(MPEG-4)を再生できます。)

パソコン接続についてのご注意

- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- 1台のパソコンで2台以上のUSB機器を接続している場合、同時に使用するUSB機器によっては、本機が動作しないことがあります。
- USBハブ経由でご使用の場合は、動作保証いたしません。
- Hi-Speed USB(USB2.0準拠)のため、対応のUSBインターフェースに接続すると、高速な転送(high-speed転送)が行えます。
- パソコンと接続するときの本機のUSBモードには[オート](お買い上げ時の設定)、[Mass Storage]、[PTP]の3種類があります。ここでは[オート]および[Mass Storage]での使いかたを説明します。[PTP]については、59ページをご覧ください。
- パソコンがサスペンド・レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。

デジタルイメージングカスタマーサポートのホームページでは、パソコンとの接続方法や最新サポート情報をご覧いただけます。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

画像をパソコンに取り込む

ここでは、Windowsパソコンでの手順を説明します。
本機の画像をパソコンに取り込むには、下記の方法があります。

“メモリースティック”スロット付きパソコンの場合：
本機から“メモリースティック デュオ”を取りはずしてメモリースティック デュオ アダプターに入れ、パソコンに挿入して、画像データをコピーする。

“メモリースティック”スロットなしのパソコンの場合：
63 ～ 68ページ記載の操作1 ～ 4で、画像をパソコンにコピーできます。

パソコンとの接続方法や最新サポート情報は、デジタルイメージングカスタマーサポートのホームページをご覧ください。

http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

操作1：USBドライバをインストールする

98 | 98SE | 2000 | Me

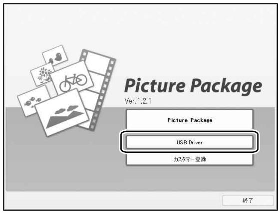
- ドライバとは、接続機器を正しく動かすためのソフトウェアです。
- Windows XPのときは、操作1は不要です。
- すでにパソコンに「PicturePackage」がインストールされている場合は、操作1は不要です。

ご注意：この時点では、本機をパソコンにつながないでください。

1 使用中のソフトウェアをすべて終了させる。

- Windows 2000は、Administrator(管理者権限)でログオンする。

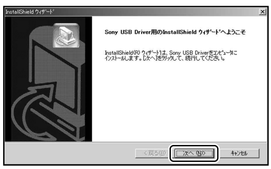
2 CD-ROMをパソコンに入れ、インストール画面が表示されたら、「USB ドライバ」をクリック。



「Sony USB Driver用のInstallShieldウィザードへようこそ」画面が表示される。

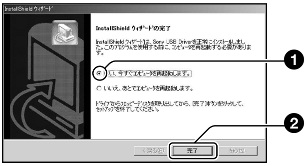
- インストール画面が表示されないときは、(マイコンピュータ)→ (PICTURE PACKAGE)の順にダブルクリック。

3 [次へ]をクリック。



USBドライバのインストールが始まる。インストールが終了すると、「InstallShieldウィザードの完了」画面が表示される。

4 **［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］の ○ をクリックして⊙にし、［完了］をクリック。**



パソコンが再起動して、本機とパソコンがUSB接続できるようになる。

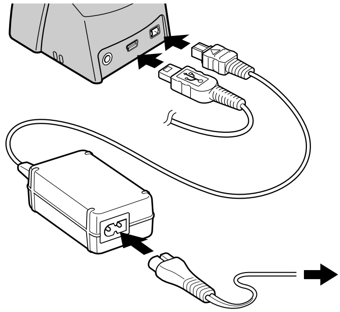
インストールが終了したら、パソコンからCD-ROMを取り出す。

操作2：本機とパソコンを接続する

1 **画像を記録した"メモリースティック デュオ"を本機に入れる。**

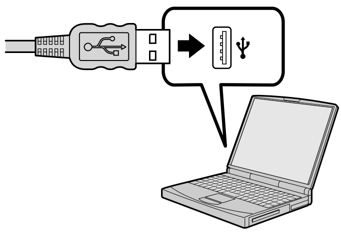
- アルバムの画像を直接パソコンにコピーすることはできません。アルバムから"メモリースティック デュオ"へ画像をコピー（56ページ）してから、手順1を行います。

2 **サイバーショットステーション（付属）とACアダプター（付属）をつなぎ、壁のコンセントにつなぐ。**
USBケーブルをサイバーショットステーションのψ（USB）端子につなぐ。

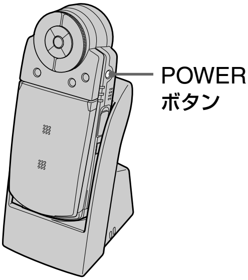


- バッテリーを使用して画像ファイルをコピーすると、バッテリー切れのためデータを転送できなかったり、データを破損する恐れがあります。

3 **USBケーブルをパソコンのUSB端子につなぐ。**

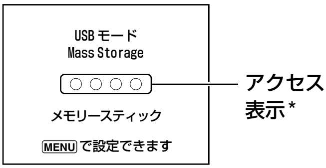


4 本機をサイバーショットステーションに取り付けて(17ページ)、電源を入れる。



- Windows XPの場合は、パソコンの画面に自動再生ウィザードが表示されます。

本機の画面に「USBモード Mass Storage」と表示される。



初回接続時のみ、パソコンが本機を認識するための作業を自動的に行います。作業が終わるまでお待ちください。

* 通信中はアクセス表示が赤色になります。白色になるまで、パソコンの操作をしないでください。

- 画面に「USBモード Mass Storage」と表示されないときは、本機の[USB接続]を[Mass Storage]に設定してください(59ページ)。

- USB接続中は、本機をサイバーショットステーションから取りはずさないでください。画像データが壊れることがあります。USB接続を終了するときは、68ページの「パソコンとの接続を切断するには」をご覧ください。

操作3-A：画像をパソコンに取り込む

XP

- Windows 98/98SE/2000/Me使用時：
→「操作3-B：画像をパソコンに取り込む」(66ページ)
- Windows XP使用時で、自動再生ウィザードが起動しないとき：
→「操作3-B：画像をパソコンに取り込む」(66ページ)

ここでは、パソコンの「マイドキュメント」に画像を取り込む例を説明します。

1 「操作2」で接続完了後、パソコンで自動再生ウィザードが起動するので、コンピュータにあるフォルダに画像をコピーする。Microsoftスキャナとカメラウィザード使用] → [OK]の順にクリック。



「スキャナとカメラウィザードの開始」画面が表示される。

2 [次へ]をクリック。

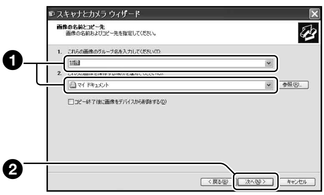
本機の“メモリースティック デュオ”に記録されている画像が表示される。

3 パソコンにコピーしない画像の ☑ をクリックして □ にし、[次へ]をクリック。



「画像の名前とコピー先」画面が表示される。

4 画像の名前とコピー先を指定し、[次へ]をクリック。



画像のコピーを開始します。画像のコピーが終了すると、「そのほかのオプション」画面が表示される。

- ここでは、画像のコピー先を「マイドキュメント」にしています。

5 [作業を終了する]の ○ をクリックして ⊙ にし、[次へ]をクリック。



「スキャナとカメラウィザードの完了」画面が表示される。

6 [完了]をクリック。

ウィザード画面が閉じる。

- 続けて画像をコピーした場合は、サイバーショットステーションからUSBケーブルを1度抜いて、「操作2：本機とパソコンを接続する」から行う。

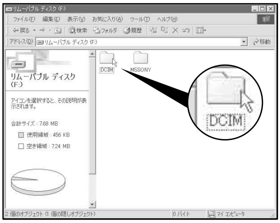
操作3-B：画像をパソコンに取り込む

98 98SE 2000 Me

- Windows XP使用時：→「操作3-A：画像をパソコンに取り込む」(65ページ)

ここでは、パソコンの「マイドキュメント」に画像を取り込む例を説明します。

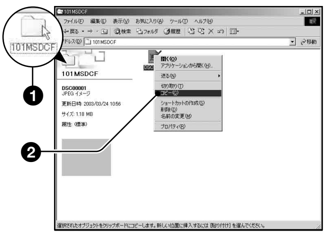
1 [マイコンピューター]→[リムーバブルディスク]→[DCIM]の順にダブルクリック。



新しくフォルダを作成していない場合は、「101MSDCF」フォルダのみ表示される。

- 動画の場合は、[MP_ROOT]をダブルクリックする。
- リムーバブルディスクが表示されないときは、91ページをご覧ください。

2 取り込みたい画像の入っているフォルダをダブルクリック。次に、取り込みたい画像ファイルを右クリックしてメニューを表示し、[コピー]をクリック。



3 [マイドキュメント]フォルダをダブルクリックして開く。次に、右クリックでメニューを表示し、[貼り付け]を選ぶ。



「マイドキュメント」フォルダに画像がコピーされる。

- コピー先に同じファイル名の画像があるときは、元の画像を上書きしてもよいかを確認するメッセージが表示されます。
  上書きすると、元のファイルデータは消えます。上書きしない場合は、ファイル名を希望の名称に変更してからコピーします。ただし、ファイル名を変更(70ページ)すると本機で再生できなくなる場合があります。

操作4:パソコンで画像を見る

「マイドキュメント」に保存された画像を見ます。

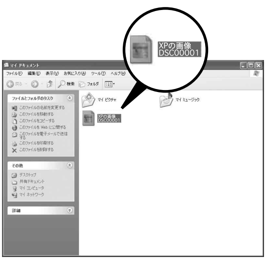
1 [スタート]→[マイドキュメント]をクリック。



「マイドキュメント」フォルダの内容が表示される。

- Windows XP以外の場合は、デスクトップ画面上の[マイドキュメント]をダブルクリックする。

2 見たい画像ファイルをダブルクリック。



画像が表示される。

- 本機で撮影された動画ファイル(MPEG-4)の再生には、MPEG-4に対応する専用ソフトまたは「PicturePackage」が必要です。(OSがWindowsXP、2000のときのみ、「PicturePackage」で動画ファイル(MPEG-4)を再生できます。)

パソコンとの接続を切断するには

以下の操作を行いたいときは、ここで説明する手順をあらかじめ行ってください。

- USBケーブルを抜く
- “メモリースティック デュオ”を取り出す
- 本機の電源を切る

■Windows 2000/Me/XPの場合

① タスクトレイの をダブルクリック。



ここをダブルクリック

② (Sony DSC)→[停止]をクリック。

③ 取りはずすドライブを確認して、[OK]をクリック。

④ [OK]をクリック。
パソコンとの接続が切断されました。

- Windows XPをお使いの方は、手順④は不要です。

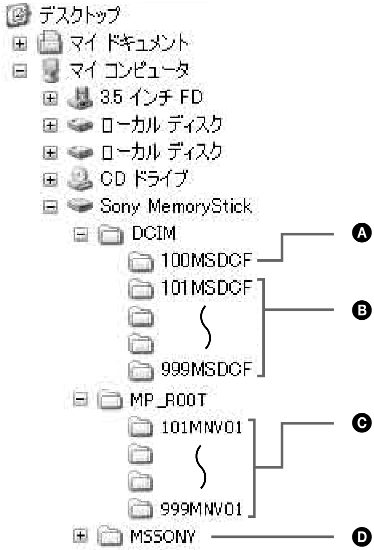
■Windows 98/98SEの場合

アクセス表示(65ページ)が白色になっていることを確認する。白色になっていれば、パソコンとの接続が切断されています。

画像ファイルの保存先とファイル名

本機で撮影した画像ファイルは、"メモリースティック デュオ"内のフォルダにまとめられています。

Windows XPの例



Ⓐ フォルダ作成機能のないカメラで撮影した画像ファイルのフォルダ。

Ⓑ 本機で撮影した静止画ファイル、ハイブリッド撮影で同時に記録される動画ファイル、本機以外のフォルダ作成機能があるカメラで撮影した静止画/動画ファイルのフォルダ。新しくフォルダを作成していない場合は、「101MSDCF」のみです。

Ⓒ 本機で撮影した動画ファイルのフォルダ(ハイブリッド撮影で同時に記録される動画をのぞく)。新しくフォルダを作成していない場合は、「101MNV01」のみです。

Ⓓ フォルダ作成機能がないカメラで撮影した動画データなどのフォルダ。

- 「100MSDCF」または「MSSONY」のフォルダには本機で画像を記録できません。「100MSDCF」フォルダでは再生のみ可能です。
- 画像ファイル名は、下記のようになります(□□□□は0001～9999の半角数字です)。
  – 静止画ファイル:DSC0□□□□.JPG
  – ハイブリッド撮影時に記録された動画ファイル:DSC0□□□□.MP4
  – 通常の動画ファイル:M4V0□□□□.MP4
  – 動画撮影時に記録されるインデックス画像ファイル:M4V0□□□□.THM
- ハイブリッド撮影で撮影した静止画ファイルと動画ファイル、動画モードで撮影した動画ファイルとそのインデックス画像ファイル名の数字部分は同じです。
- フォルダについては、45、54ページをご覧ください。

パソコン内の画像を本機で見る

ここでは、Windowsパソコンでの手順を説明します。
パソコンにコピー後、“メモリースティック デュオ”から消去した画像をもう1度本機で見るには、パソコンから“メモリースティック デュオ”に画像をコピーしてから本機で再生します。

- 本機設定のファイル名を変更していない場合、手順1は必要ありません。
- 画像サイズによっては再生できない画像があります。
- パソコンで画像を加工したファイルや、本機以外で撮影した画像は本機での再生を保証しません。
- フォルダがない場合は、まず本機でフォルダを作成してから(54ページ)画像ファイルのコピーを行ってください。

1 画像ファイルを右クリックし、[名前の変更]をクリックする。ファイル名を「DSC0□□□□」に変更する。

□□□□には、0001から9999までの半角数字を入れる。



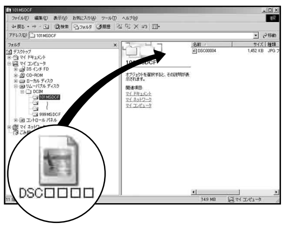
- 動画ファイルは「M4V0□□□□」になります。
- 上書きの警告が出た場合は、別の数字を入れなおしてください。

- パソコンによっては、静止画の拡張子「JPG」、動画の拡張子「MP4」が表示されます。拡張子は変更しないでください。

2 下記の手順で、ファイルを“メモリースティック デュオ”内のフォルダにコピーする。

① 画像を右クリック→[コピー]をクリック。
② [マイコンピュータ]内の[リムーバブルディスク]または[SonyMemoryStick]をダブルクリック。
③ [DCIM]フォルダ内の[□□□MSDCF]フォルダ（静止画）または[MP_ROOT]フォルダ内の[□□□MNV01]フォルダ（動画）を右クリックし、[貼り付け]をクリック。

- □□□には、100～999までの半角数字が入る。



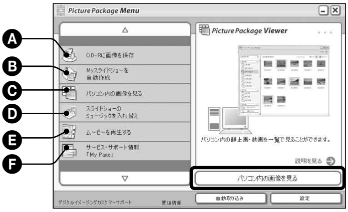
付属のソフトウェアで楽しむ

ここでは、Windowsパソコンの手順を説明します。

付属ソフトウェアのご紹介

付属のCD-ROMには、「PicturePackage」が収録されています。

PicturePackage



[できること]

A CD-Rに画像を保存
B Myスライドショーを自動作成
C パソコン内の画像を見る
D スライドショーのミュージックを入れ替え（「Music Transfer」）
E ムービーを再生する（「Movie Player」*）
*「Movie Player」はWindows XP、2000のみに対応しています。
F サービス・サポート情報「My Page」

[各機能のはじめかた]

A～Fのいずれかをクリックで選び、次に画面右下のボタンをクリックする。

ソフトウェアをインストールする

下記の手順で、「PicturePackage」をインストールします。

- Windows XP以外で、USBドライバをインストール（63ページ）していない場合は、インストール前に本機をパソコンに接続しないでください。
- Windows 2000の場合はAdministrator（管理者権限）、Windows XPをお使いの場合はコンピュータの管理者権限でログオンしてください。
- 「PicturePackage」のインストールを行うと、USBドライバのインストールも同時に行えます。
- Windows 98/ Windows 98SE で、DVgate Ver.2.3より以前のバージョンがインストールされているバイオに、DirectX 9以降のDirectXをインストールすると、DVgateやDVgate motionを正常に使用できません。「PicturePackage」をインストールすると、同時にDirectX 9もインストールされるためです。
今後もDVgateを使用する場合は、「PicturePackage」をインストールしないようにご注意ください。

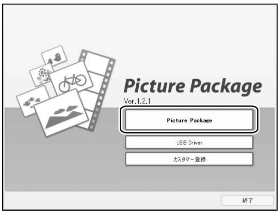
詳しくは下記URLをご覧ください。
http:/ /www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

1 **パソコンの電源を入れた状態で、CD-ROM（付属）をCD-ROMドライブに入れる。**

インストール画面が表示される。

- インストール画面が表示されないときは、（マイコンピュータ）→ (PICTURE PACKAGE)の順にダブルクリック。

2 **[PicturePackage]をクリックする。**



言語の選択画面が表示される。

3 **[日本語]を選び、[次へ]を２回クリックする。**

使用許諾画面が表示される。
内容をよく読み、「使用許諾契約の全条項に同意します」にチェックを入れ、[次へ]をクリック。

4 **以降、画面の指示に従ってインストールを進める。**

- 「DirectX」（インストールされていない場合のみ）も連続してインストールされます。
- パソコンの再起動を求める画面が表示されたら、画面の指示に従って再起動してください。

5 **インストール後、デスクトップ上に「PicturePackage Menu」とPicturePackage保存先フォルダのショートカットが表示されたら、パソコンからCD-ROMを取り出す。**

ソフトウェアを起動するには

デスクトップ上の[PicturePackage Menu]のアイコンをダブルクリック。

ソフトウェアの使いかたを調べるには

各画面右上の[？]をクリックして表示されるヘルプを参照する。

「Music Transfer」でBGMの追加/入れ替えをする

「Music Transfer」を使って、出荷時から本機に用意されているBGMファイルをお好みの曲と入れ替えることができます。また、BGMファイルの削除や追加を行うこともできます。

「Music Transfer」で取り込むことができる曲の種類は下記のとおりです。

- パソコンのハードディスクに保存されたMP3ファイル
- 音楽CDの曲
- 工場出荷時に本機に保存されている曲

1 “メモリースティック デュオ”を抜いた状態で本機とパソコンをUSB接続する。

- “メモリースティック デュオ” が本機に入っていると、「Music Transfer」から本機を認識できず、BGMファイルの追加/入れ替えが行えません。

2 「Music Transfer」を起動する。

3 画面の操作手順に従ってBGMファイルの追加/入れ替えを行う

- 出荷時に保存されていた曲を再び本機に戻すときは、まず最初に[BGMフォーマット](58ページ)を行うことをおすすめします。
- 「Music Transfer」の詳しい使いかたについては、「Music Transfer」のヘルプをご覧ください。

「PicturePackage」に関するお問い合わせ・サポートは、ピクセラユーザーサポートセンターに委託しています。

ピクセラユーザーサポートセンター
電話:06-6633-3900
受付時間:月～日　午前9時～午後5時
(ただし、年末、年始、祝日を除く。)
URL:http://www.ppackage.com/

Macintoshをお使いのときは

Macintoshに画像を取り込んで見たり、「Music Transfer」を使って、スライドショーで再生するBGMをお好みの曲と入れ替えたりすることができます。

パソコンの推奨環境

画像を取り込む時の推奨環境

OS（工場出荷時にインストールされていること）: Mac OS 9.1/9.2、Mac OS X(v10.0以降)

USB端子: 標準装備

- 工場出荷時にQuickTime 6以降がインストールされていることを推奨します。

「Music Transfer」使用時の推奨環境

OS（工場出荷時にインストールされていること）:Mac OS X（v10.3以降）

CPU：iMac、eMac、iBook、PowerBook、Power Mac G3/G4/G5シリーズ、Mac mini

メモリ：64 MB以上（128 MB以上を推奨）

ハードディスク：インストール時に必要な容量：約250 MB

パソコン接続についてのご注意

- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- 1台のパソコンで2台以上のUSB機器を接続している場合、同時に使用するUSB機器によっては、本機が動作しないことがあります。
- USBハブ経由でご使用の場合は、動作保証いたしません。
- Hi-Speed USB（USB2.0準拠）のため、対応のUSBインターフェースに接続すると、高速な転送（high-speed転送）が行えます。
- パソコンと接続するときの本機のUSBモードには[オート]（お買い上げ時の設定）、[Mass Storage]、[PTP]の3種類あります。ここでは[オート]および[Mass Storage]での使いかたを説明します。[PTP]については、59ページをご覧ください。
- パソコンがサスペンド・レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。

デジタルイメージングカスタマーサポートのホームページでは、パソコンとの接続方法や最新サポート情報をご覧いただけます。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

画像を取り込んで見る

1 本機とMacintoshを接続する。

「操作2：本機とパソコンを接続する」（64ページ）と同じ操作で接続します。

2 画像ファイルをMacintoshにコピーする。

① デスクトップ画面上の新しく認識されたアイコン→[DCIM]（動画の場合は[MP_ROOT]）→取り込みたい画像の入ったフォルダの順にダブルクリック。

② 画像ファイルをハードディスクアイコンにドラッグ＆ドロップ。
ハードディスクに画像ファイルがコピーされる。

- 画像ファイルの保存先とファイル名については、69ページをご覧ください。

3 Macintoshで画像を見る。

［ハードディスクアイコン］→画像ファイルの順にダブルクリックすると画像が開く。

- 動画を見るには、MPEG-4に対応したソフトウェアが必要です。

パソコンとの接続を切断するには

以下の操作を行いたいときは、ここで説明する手順をあらかじめ行ってください。

- USBケーブルを抜く
- "メモリースティック デュオ"を取り出す
- 本機の電源を切る

"メモリースティック デュオ"またはドライブのアイコンをゴミ箱にドラッグ&ドロップする。

パソコンとの接続が切断されました。

- Mac OS X v10.0の場合は、接続が切断されたあとで、Macintoshの電源を切る。

「Music Transfer」でBGMの追加/入れ替えをする

「Music Transfer」を使って、出荷時から本機に用意されているBGMファイルをお好みの曲と入れ替えることができます。また、BGMファイルの削除や追加を行うこともできます。

「Music Transfer」で取り込むことができる曲の種類は下記のとおりです。

- パソコンのハードディスクに保存されたMP3ファイル
- 音楽CDの曲
- 工場出荷時に本機に保存されている曲

「Music Transfer」をインストールするには

- インストール前に使用中のソフトウェアをすべて終了させてください。
- インストールするにはコンピューターの管理者権限が必要です。

① Macintoshに電源が入った状態で、CD-ROM（付属）をディスクドライブに入れる。

② (PICTUREPACKAGE)をダブルクリック。

③ ［MAC］フォルダの中の［MusicTransfer.pkg］をダブルクリック。

④ インストールが始まる。

BGMファイルの追加/入れ替えをするには

72ページの「「Music Transfer」でBGMの追加/入れ替えをする」をご覧ください。

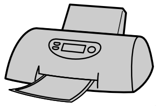
- 出荷時に保存されていた曲を再び本機に戻すときは、まず最初に［BGMフォーマット］（58ページ）を行うことをおすすめします。
- 「Music Transfer」の詳しい使いかたについては、「Music Transfer」のヘルプをご覧ください。

「Music Transfer」に関するお問い合わせ・サポートは、ピクセラユーザーサポートセンターに委託しています。

ピクセラユーザーサポートセンター
電話：06-6633-3900
受付時間：月～日　午前9時～午後5時
（ただし、年末、年始、祝日を除く。）
URL：http://www.ppackage.com/

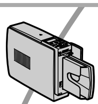
静止画をプリントするには

ダイレクトプリントする（PictBridge対応プリンター使用）（77ページ）



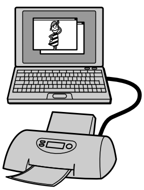
PictBridge対応プリンターに本機を直接接続してプリントします。

ダイレクトプリントする（“メモリースティック”対応プリンター使用）



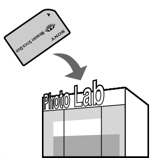
“メモリースティック”対応プリンターでプリントします。詳しくはプリンターの取扱説明書をご覧ください。

パソコンを使ってプリントする



付属のCD-ROM収録のソフトウェア「PicturePackage」を使って画像をパソコンに取り込んでから、プリントします。

お店でプリントする（81ページ）



プリントサービス店に、画像を撮影した“メモリースティック デュオ”を持参します。プリントしたい画像にあらかじめ🖨（プリント予約）マークを付けておくこともできます。

ダイレクトプリントする（PictBridge対応プリンター使用）

PictBridge対応プリンターなら、本機で撮影した画像をパソコンなしでプリントできます。

PictBridge

- 「PictBridge」は、「ピクトブリッジ」と読みます。カメラ映像機器工業会（CIPA）で制定された統一規格のことです。

シングルプリント

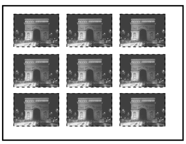
1枚のプリント用紙に1枚の画像をプリントします。



インデックスプリント

1枚のプリント用紙に複数の画像を縮小プリントします。1枚の画像を繰り返しプリントしたり（①）、選択した画像をインデックスプリント（②）できます。

①



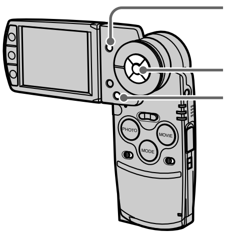
②



- インデックスプリントはプリンターによっては対応していない場合があります。
- プリンターによって、1枚のインデックスプリントでプリントされる画像枚数は異なります。
- 動画とアルバム内の画像はプリントできません。
- 本機の画面で が約5秒間点滅したら（プリンターからのエラー通知）、接続しているプリンターを確認してください。

操作1：本機を準備する

本機とプリンターをUSB接続するために、本機を設定します。［USB接続］の［オート］モードで認識されるプリンターに接続する場合は、操作1は不要です。



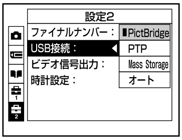
- プリントの途中で電源が切れないように、充分に充電したバッテリーまたはACアダプターのご使用をおすすめします。

1 **MENUボタンを押し、メニューを表示する。**

2 **コントロールボタンの▶で［ ］（セットアップ）を選ぶ。**

3 **コントロールボタンの▼で［ ］（設定2）を選び、▲/▼/▶で［USB接続］を選ぶ。**

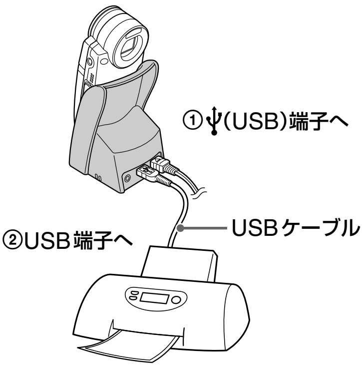
4 ▶/▲で[PictBridge]を選び、中央の●を押す。



USB接続が設定される。

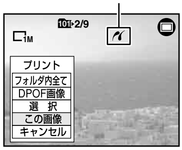
操作2：本機とプリンターを接続する

1 本機をサイバーショットステーションに取り付け、付属のUSBケーブルでサイバーショットステーションのψ(USB)端子とプリンターのUSB端子を接続する。



2 本機とプリンターの電源を入れる。

接続が完了すると、画面に
マークが表示される。



本機が再生モードになり、画像とプリントメニューが画面に表示される。

操作3：プリントする

撮影/再生モードに関係なく、操作2が終わった時点で、画面にプリントメニューが表示されています。

1 コントロールボタンの▲/▼で希望のプリントの種類を選び、中央の●を押す。

[フォルダ内全て]
フォルダ内すべての画像をプリントする。

[DPOF画像]
表示されている画像と関係なく、（プリント予約）マーク（81ページ）が付いているすべての画像をプリントする。

[選択]
画像を順に選ぶ。選んだすべての画像をプリントする。

① プリントしたい画像を◀/▶または シャトルで選び、中央の●を押す。
選んだ画像に✔マークが付く。

- 他の画像も選ぶには、この手順を繰り返してください。

② ▼で[プリント]を選び、中央の●を押す。

[この画像]

表示されている画像をプリントする。

- この項目で[この画像]を選び、次の手順2の[インデックス]を[入]にすると、1枚の画像を繰り返しインデックスプリントします。

2 ▲/▼/◀/▶でプリント設定する。



[インデックス]

インデックスプリントするときは[入]を選ぶ。

[サイズ]

用紙サイズを選ぶ。

[日付]

日付を挿入するときは[年月日]または[日時分]を選ぶ。

- [日付]で[年月日]を選んだ場合、*別冊「はじめに」の手順2*で選んだ表示順の年月日が挿入されます。ただし、プリンターによっては対応していない場合があります。

[枚数]

– [インデックス]が[切]のとき：
画像のプリント枚数を設定。シングルプリントされます。

– [インデックス]が[入]のとき：
選択した画像のインデックスプリント枚数を設定。手順1で[この画像]を選んだときは、同じ画像を1枚の用紙に並べる数になります。

- インデックスプリント時、画像の枚数によっては、1枚の用紙に指定枚数分の画像が収まらないことがあります。

3 ▼/▶で[実行]を選び、中央の●を押す。

画像がプリントされる。

- (USBケーブル抜き禁止)マークが画面に表示されているときは、USBケーブルを抜かないでください。



他の画像をプリントするには

手順3のあと、▲/▼で[選択]を選んで画像を選び、手順1から行う。

インデックス画面でプリントするには

「操作1:本機を準備する」(77ページ)と「操作2:本機とプリンターを接続する」(78ページ)のあと、以下を行ってください。
本機とプリンターを接続すると、プリントメニューが表示されます。[キャンセル]を押してプリントメニューを消してから下記の手順を行ってください。

① (インデックス)ボタンを押す。
インデックス画面が表示されます。
- インデックス画面の9枚表示と16枚表示を切り換えるには、もう1度 (インデックス)ボタンを押してください。

② MENUボタンを押す。
メニューが表示される。

③ ▶で[ ](プリント)を選び、中央の●を押す。

④ ◀/▶で希望のプリント種類を選び、中央の●を押す。



[選択]
画像を順に選ぶ。選んだすべての画像をプリントする。
プリントしたい画像を ▲/▼/◀/▶ またはシャトルで選び、中央の●を押して✓マークを付ける。(他の画像も選ぶには、この手順を繰り返す。)次に、MENUボタンを押す。

[DPOF画像]
表示されている画像と関係なく、 (プリント予約)マークが付いているすべての画像をプリントする。

[フォルダ内全て]
フォルダ内のすべての画像をプリントする。

⑤「操作3:プリントする」(78ページ)の手順2〜3を行う。

お店でプリントする

画像を撮影した"メモリースティック デュオ"をプリントサービス店に持参します。DPOF規格対応のお店でプリントするときは、（プリント予約）マークを付けて、プリントしたい画像を本機であらかじめ予約できます。

DPOF（ディーポフ）規格とは

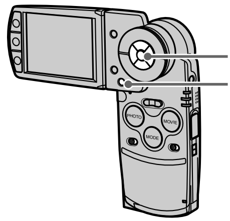
Digital Print Order Formatの略です。（プリント予約）マークを付けて、プリントしたい画像を"メモリースティック デュオ"上に指定することができます。

- DPOF対応プリンター、PictBridge対応プリンターでも、プリント予約マークを付けた画像をプリントできます。
- 動画はプリント予約マークが付けられません。
- マルチ連写で撮影した画像は、16分割された一枚の画像としてプリント予約マークが付きます。
- アルバム内の画像にプリント予約マークは付けられません。

お店に"メモリースティック デュオ"を持参するときには

- 対応している"メモリースティック デュオ"の種類はプリントサービス店にお問い合わせください。
- "メモリースティック デュオ"に対応していないプリントサービス店の場合は、CD-Rなどに画像データをコピーして持参してください。
- メモリースティック デュオ アダプターも持参してください。
- プリントサービス店をご利用前に、必ずデータのバックアップを取ってください。
- プリント枚数の設定はできません。

シングル画面でプリント予約マークを付ける



1 予約したい画像を表示する。

2 MENUボタンを押し、メニューを表示する。

3 コントロールボタンの◀/▶で[DPOF]を選び、中央の●を押す。

画像に（プリント予約）マークが付く。



4 他の画像にもマークを付けたいときは、◀/▶またはシャトルでマークを付けたい画像を表示させ、中央の●を押す。

シングル画面でプリント予約マークを消すには

手順3または4で中央の●を押す。

インデックス画面でプリント予約マークを付ける

1 インデックス画面にする(→*別冊「はじめに」手順6*)。

2 MENUボタンを押し、メニューを表示する。

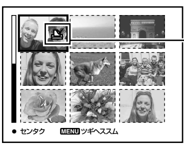
3 コントロールボタンの◀/▶で[DPOF]を選び、中央の●を押す。

4 ◀/▶で[選択]を選び、中央の●を押す。

- [フォルダ内全て]ではマークを付けられません。

5 マークを付けたい画像を▲/▼/◀/▶またはシャトルで選び、中央の●を押す。

画像に緑色のマークが付く。



緑色の
マーク

6 他の画像にもマークを付けたいときは、手順5を繰り返す。

7 MENUボタンを押す。

8 ▶で実行を選び、中央の●を押す。

マークが白色に変わる。

中止するには、手順4で[キャンセル]、または手順8で[終了]を選んで中央の●を押す。

インデックス画面でプリント予約マークを消すには

手順5でマークを消したい画像を選び、中央の●を押す。

フォルダ内の全画像の予約マークを消すには

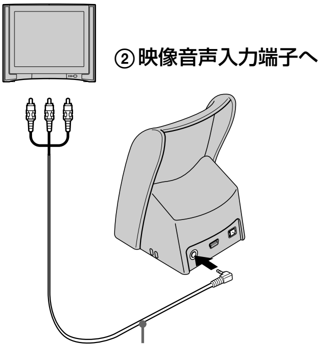
手順4で[フォルダ内全て]を選び、中央の●を押し、次に[切]を選んで●を押す。

テレビで見る

本機とテレビをつないで、撮影した画像をテレビで見ることができます。

本機とテレビの電源を切った状態で接続してください。

1 付属のA/V接続ケーブルで付属のサイバーショットステーションのA/V OUT（STEREO）端子と、テレビの映像/音声入力端子を接続する。



テレビの音声入力端子がモノラルタイプのときはA/V接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声入力へつないでください。音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が聞こえます。

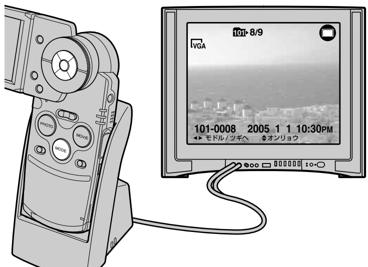
- USBケーブルが接続されている場合は、取りはずす。

2 本機をサイバーショットステーションに取り付ける（17ページ）。

3 テレビの電源を入れ、テレビ/ビデオ切り換えスイッチを「ビデオ」にする。

- 詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

4 本機の電源を入れ、MODEボタンを押して、再生モードにする。



撮影した画像がテレビに表示される。

コントロールボタンの◀/▶で画像を選ぶ。

- A/V接続ケーブルを接続したサイバーショットステーションに本機を取り付けたとき、本機の液晶画面には何も表示されません。
- 海外で見るときは[ビデオ信号出力]の切り換えが必要な場合があります（60ページ）。

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

❶ 85 ～ 95ページの項目をチェックし、本機を点検する。

画面に「C/ E：□□：□□」のような表示が出たときは、96ページをご覧ください。

❷ バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。

❸ RESETボタンを先の細いもので押してから、電源を入れる（リセット）。

この操作を行うと、日時などの設定は解除されます。



❹ デジタルイメージングカスタマーサポートのホームページで確認する。

http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

❺ テクニカルインフォメーションセンターに電話で問い合わせる（裏表紙）。

• アルバムやBGM機能を搭載した機種を修理に出した場合、アルバムやBGMの内容を確認させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

バッテリー・電源

バッテリーが充電できない。

- 電源が入っていると充電できません。電源を切る（→*別冊「はじめに」手順2*）。

本機にバッテリーを入れられない。

- 正しい向きに入れる（→*別冊「はじめに」手順1*）。

バッテリー充電中、⚡/CHG ランプが点滅する。

- バッテリーが正しく取り付けられているか確認する（→*別冊「はじめに」手順1*）。
- バッテリーが消耗しています。ACアダプターを1度抜き差ししてからバッテリーを充電する。
- バッテリーが故障している可能性があります。テクニカルインフォメーションセンターに問い合わせる（裏表紙）。

バッテリー充電中、⚡/CHG ランプが点灯しない。

- ACアダプターがはずれていないか確認する（16ページ、→*別冊「はじめに」手順1*）。
- バッテリーが正しく取り付けられているか確認する（→*別冊「はじめに」手順1*）。
- 充電が完了していると、⚡/CHGランプは点灯しません。
- バッテリーが消耗しています。ACアダプターを1度抜き差ししてからバッテリーを充電する。
- ACアダプターが故障している可能性があります。テクニカルインフォメーションセンターに問い合わせる（裏表紙）。
- 本機をサイバーショットステーションに正しく取り付ける（17ページ）。

バッテリーの残量表示が正しくない。またはバッテリー残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる。

- 温度が極端に高いまたは低いところで使用しているときの現象です（101ページ）。
- 残量表示と実際の残量にズレが生じています。バッテリーを1度使い切ってから充電すると正しい表示に戻ります。
- バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを入れる（→*別冊「はじめに」手順1*）。
- バッテリーの寿命です（101ページ）。新しいバッテリーと交換する。

バッテリーの消耗が早い。

- 充分に充電する（→*別冊「はじめに」手順1*）。
- 温度が極端に低いところで使用しているときの現象です（101ページ）。
- バッテリー端子が汚れていると、充電が充分できません。綿棒などで掃除する。
- バッテリーの寿命です（101ページ）。新しいバッテリーと交換する。

電源が入らない。

- バッテリーが正しく取り付けられているか確認する（→*別冊「はじめに」手順1*）。
- ACアダプターがはずれていないか確認する（16ページ、→*別冊「はじめに」手順1*）。
- ACアダプターが故障している可能性があります。テクニカルインフォメーションセンターに問い合わせる（裏表紙）。
- バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを入れる（→*別冊「はじめに」手順1*）。
- バッテリーの寿命です（101ページ）。新しいバッテリーと交換する。
- 本機をサイバーショットステーションに正しく取り付ける（17ページ）。

電源が途中で切れる

- 操作しない状態が3分以上続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。電源を入れなおすか、ACアダプターを使う（16ページ、→*別冊「はじめに」手順2*）。
- バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを入れる（→*別冊「はじめに」手順1*）。
- 本機をサイバーショットステーションに正しく取り付ける（17ページ）。

静止画/動画を撮る

電源を入れても液晶画面がつかない。

- 暗い場所で |□| ボタンを押してバックライトがオフになっています。|□| ボタンを押してバックライトをオンにする。

撮影できない。

- “メモリースティック デュオ”の空き容量を確認する（24ページ）。いっぱいのときは、下記のいずれかを行う。
  – 不要な画像を削除する（→*別冊「はじめに」手順6*）。
  – “メモリースティック デュオ”を交換する。
- 誤消去防止スイッチのある“メモリースティック デュオ”を使用し、スイッチが「LOCK」になっている。解除してください(99ページ)。
- フラッシュ充電中は撮影できません。
- 再生モードになっている。MODEボタンを押して、撮影モードにする。

画面に被写体が写らない。

- 再生モードになっている。MODEボタンを押して、撮影モードにする。

撮影に時間がかかる。

- NRスローシャッター機能が働いている（20ページ）。故障ではありません。

ピント(フォーカス)が合わない。

- 被写体が近すぎるためです。近接(マクロ)撮影モードにし、最短撮影距離(W側約8cm、T側約25cm)より離して撮影する。または、シーンセレクションの (拡大鏡モード)にして、被写体までの距離を約1cmから20cm離してピントを合わせる(36ページ)。
- 静止画撮影時、シーンセレクションの (拡大鏡モード)、(夜景モード)、(風景モード)、(打ち上げ花火モード)が選ばれていると、ピントが合わない場合があります。
- フォーカスプリセットになっているときは、オートフォーカスに戻す(38ページ)。
- 「ピントが合わないときは」(39ページ)をご覧ください。

光学ズームができない。

- 静止画撮影時は (拡大鏡モード)以外を選んでください。

デジタルズームができない。

- [デジタルズーム]を[入]にする(51ページ)。

フラッシュ撮影ができない。

- フラッシュの設定が (発光禁止)になっている(→*別冊「はじめに」手順5*)。
- 以下のときは、フラッシュ撮影できません。
  - [Mode](撮影モード)が[高速連写]、[マルチ連写]または[ブラケット]のとき(41ページ)
  - シーンセレクションの (夜景モード)、(キャンドルモード)、(打ち上げ花火モード)が選ばれているとき(36ページ)
  - 動画撮影時
- シーンセレクションの (拡大鏡モード)、(風景モード)、(スノーモード)、(ビーチモード)、(高速シャッターモード)が選ばれているときは、(強制発光)にする(36ページ)。

フラッシュ撮影した画像に、ぼんやりとした丸い斑点が写っている。

- 空気中のホコリがフラッシュの強い光に反射して写りこんだためです。故障ではありません。

近接(マクロ)撮影ができない。

- シーンセレクションの (拡大鏡モード)、(夜景モード)、(風景モード)、(キャンドルモード)、(打ち上げ花火モード)が選ばれているときは、近接(マクロ)撮影できません(36ページ)。

正しい撮影日時が記録されない。

- 日付・時刻を合わせる(→*別冊「はじめに」手順2*)。

PHOTOボタンを半押しするとF値、シャッタースピードが点滅する。

- 露出が合っていません。露出補正する（37ページ）。

画像が暗い。

- 逆光になっています。測光モード選択（→*別冊「はじめに」手順5*）、または露出補正（37ページ）する。
- 画面が暗いときは、LCDバックライトの明るさを調節する（58ページ）。
- ▯ ボタンを押してバックライトをオンにしてください（23ページ）。

画像が明るい。

- 舞台など暗いところでスポットライトが当たっている状態で撮影しています。露出補正する（37ページ）。
- 画面が明るすぎるときは、LCDバックライトの明るさを調節する（58ページ）。

画像の色が正しくない。

- ピクチャーエフェクトを解除する（43ページ）。

明るい被写体を写すと、縦に尾を引いたような画像になる。

- スミアという現象です。故障ではありません。

暗い場所で画面を見ると画像にノイズが目立つ。

- 暗い場所でも確認できるように、画面を一時的に明るくする機能が働いています。撮影される画像には影響ありません。

被写体の目が赤く写る。

- 赤目軽減モードにする（52ページ）。
- 被写体に近づいてフラッシュ推奨撮影距離内（→*別冊「はじめに」手順5*）で撮影する。
- 室内を明るくして撮影する。

画面に点が現れて消えない。

- 故障ではありません。これらの点は記録されません（9ページ、→*別冊「はじめに」*）。

連写できない。

- “メモリースティック デュオ”の容量がいっぱいです。不要な画像を削除する（→*別冊「はじめに」手順6*）。
- バッテリーの残量が足りない。充電されたバッテリーを入れる。

画像を見る

「パソコン」(90ページ)もあわせてご覧ください。

再生できない。

- 撮影モードになっている。MODEボタンを押して、再生モードにする。
- パソコンでフォルダ/ファイルの名前を変更したためです(70ページ)。
- パソコンで画像を加工したファイルや、本機以外で撮影した画像は本機での再生は保証いたしません。
- USBモードになっています。接続を終了する(68、75ページ)。

表示直後に再生画像が粗い。

- 画像処理のため、表示直後は画像が粗くなります。故障ではありません。

テレビに画像が出ない。

- [ビデオ信号出力]が[NTSC]になっているか確認する(60ページ)。
- 接続が正しいか確認する(83ページ)。
- サイバーショットステーションにUSBケーブルが接続されている。正しい手順に従って取りはずす(68、75ページ)。

本機の液晶画面に、画像が何も表示されない。

- A/V接続ケーブルがサイバーショットステーションに接続されているためです。故障ではありません。

画像を削除する/編集する

削除できない。

- 画像のプロテクトを解除する(47ページ)。
- 誤消去防止スイッチのある"メモリースティック デュオ"を使用し、スイッチが「LOCK」になっている。解除してください(99ページ)。

誤って消してしまった。

- 1度削除した画像は元に戻せません。画像にプロテクトをかける(46ページ)か、誤消去防止スイッチのある"メモリースティック デュオ"を使用し、スイッチを「LOCK」にする(99ページ)と誤消去を防げます。

リサイズができない。

- 動画、マルチ連写画像、アルバム内の画像はリサイズできません。

プリント予約マークが付かない。

- 動画とアルバム内の画像にはプリント予約マークを付けられません。

パソコン

パソコンとの接続方法や最新サポート情報はデジタルイメージングカスタマーサポートのホームページをご覧ください。

http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

対応しているOSが分からない。

- 「パソコンの推奨使用環境」を確認する（62、74ページ）。

USBドライバをインストールできない。

- Windows 2000を使用している場合は、Administrator（管理者権限）でログオンする（63ページ）。

本機がパソコンに認識されない。

- 本機の電源が入っているか確認する（→*別冊「はじめに」手順2*）。
- バッテリー残量が少ないときは、充電されたバッテリーを入れる（→*別冊「はじめに」手順1*）。またはACアダプター（付属）を使用する（16ページ）。
- 接続には、付属のUSBケーブルを使う（64ページ）。
- 1度パソコンとサイバーショットステーションからUSBケーブルを抜いて再びしっかりと差し込み、「USBモード Mass Storage」と表示されているか確認する（65ページ）。
- 本機をサイバーショットステーションに正しく取り付ける（17ページ）。
- [USB接続]が[オート]または[Mass Storage]になっているか確認する（59ページ）。
- パソコンのUSB端子に、サイバーショットステーション/キーボード/マウス以外の機器が接続されているときは、取りはずす。
- USBハブ経由などでなく、本機/サイバーショットステーションとパソコンを直接接続する（64ページ）。
- USBドライバがインストールされていないときは、インストールする（63ページ）。
- CD-ROM（付属）から「USBドライバ」をインストールする前に、本機とパソコンをUSB接続したため、デバイスが正しく認識されていません。正しく認識されなかったデバイスを削除してからUSBドライバをインストールする（次の項目）。

本機とパソコンをUSB接続しても、パソコン画面に「リムーバブルディスク」が表示されない。

- 下記の手順をパソコンで行い、USB ドライバをインストールしなおす。
  以下は、Windowsパソコンの手順です。

  1 ［マイコンピュータ］を右クリックしてメニューを表示し、［プロパティ］をクリック。
  「システムのプロパティ」画面が表示される。

  2 ［ハードウェア］タブ→［デバイスマネージャ］の順にクリック。
  • Windows98/98SE/Meをお使いの場合は、［デバイスマネージャ］タブをクリック。
  「デバイスマネージャ」が表示される。

  3 ［Sony DSC］を右クリックし、［削除］→［OK］の順にクリック。
  デバイスが削除される。

  4 USB ドライバをインストールする（63ページ）。

画像をコピーできない。

- 本機とパソコンを正しくUSB接続する（64ページ）。
- OSに対応した手順でコピーする（65、74ページ）。
- パソコンでフォーマットした"メモリースティック デュオ"で撮影した場合、画像をコピーできないことがあります。本機でフォーマットした"メモリースティック デュオ"で撮影する（54ページ）。

USB接続をしたときに「PicturePackage」が自動起動しない。

- 「PicturePackage Menu」を起動し、［設定］を確認する。
- パソコンの電源を入れた状態でUSB接続をする（59ページ）。

画像を再生できない。

- 「PicturePackage」をお使いの場合は、各画面右上のヘルプをご覧ください。
- 本機で撮影された動画ファイル（MPEG-4）の再生には、MPEG-4に対応する専用ソフトまたは「PicturePackage」が必要です。（OSがWindowsXP、2000のときのみ、「PicturePackage」で動画ファイル（MPEG-4）を再生できます。）
- パソコンメーカーまたはソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

動画を再生すると画像や音が途切れる。

- "メモリースティック デュオ"から直接再生すると、画像や音が途切れます。パソコンのハードディスクに動画をコピーして、ハードディスクのファイルを再生する（63ページ）。

画像をプリントできない。

- プリンターの設定を確認する。

パソコンからコピーした画像ファイルが本機で見られない。

- 101MSDCFなど本機で認識するフォルダにコピーする（69ページ）。
- 正しい手順で操作する（70ページ）。
- パソコンでフォルダ/ファイルの名前を変更したためです（70ページ）。

「Music Transfer」が本機を認識しない。

- 本機に"メモリースティック デュオ"が入っている。"メモリースティック デュオ"を抜いて、USB接続しなおしてください。
- 本機のBGMファイルの書きこみ領域が壊れている。［BGMフォーマット］（58ページ）を行ってください。

"メモリースティック デュオ"

本機に入らない。

- 正しい向きで入れる（→*別冊「はじめに」手順3*）。

記録できない。

- 誤消去防止スイッチのある"メモリースティック デュオ"を使用し、スイッチが「LOCK」になっている。解除してください（99ページ）。
- "メモリースティック デュオ"の容量がいっぱいになっているときは、不要な画像を削除する（→*別冊「はじめに」手順6*）。

フォーマットできない。

- 誤消去防止スイッチのある"メモリースティック デュオ"を使用し、スイッチが「LOCK」になっている。解除してください（99ページ）。

誤ってフォーマットしてしまった。

- "メモリースティック デュオ"内のデータはすべて消去され、元に戻せません。誤消去防止スイッチのある"メモリースティック デュオ"を使用し、スイッチを「LOCK」にする（99ページ）と誤フォーマットを防げます。

メモリースティックスロット付きパソコンで"メモリースティック PRO デュオ"が認識されない。

- パソコンおよびカードリーダーが"メモリースティック PRO デュオ"に対応しているかご確認ください。ソニーバイオをお使いの場合、サイバーショットのサポートページをご覧いただきますと対応の有無がご確認できます（裏表紙）。ソニー製以外のパソコンおよびカードリーダーをお使いの場合は、各メーカーにお問い合わせください。
- "メモリースティック PRO デュオ"非対応の場合は、本機をパソコンにつないでください（63～64ページ）。パソコンが"メモリースティック PRO デュオ"を認識します。

アルバム

アルバムのデータを"メモリースティック デュオ"にコピーしたのに、アルバムの空き容量が減らない。

- データをコピーしても、アルバム内のデータは削除されません。

メモリースティックツールの[コピー]が表示されない。

- メモリースティックツールの[コピー]は、バッテリー使用時には表示されません。コピーしたいときはACアダプターを使用する。

アルバム内のデータを"メモリースティック デュオ"にコピーできない。

- "メモリースティック デュオ"の空き容量がない。空き容量を確認する(64MB以上推奨)。

"メモリースティック デュオ"やパソコンの画像をアルバムにコピーできない。

- "メモリースティック デュオ"やパソコンの画像はアルバムにコピーできません。

撮影した画像をアルバムに記録することができない。

- アルバムツールの[書きこみ]が[切]になっている。[入]にする(57ページ)。
- プロテクトされた画像でアルバムの容量がいっぱいになっている。不要な画像のプロテクトを解除してください(47ページ)。

PictBridge対応プリンター

プリンターと接続できない。

- 本機は、PictBridge非対応プリンターには直接接続できません。対応の有無は、プリンターのメーカーにお問い合わせください。
- プリンターの電源が入り、接続可能な状態になっていることを確認する。
- [USB接続]が[PictBridge]になっているか確認する(59ページ)。
- USBケーブルを抜いて、接続しなおす。プリンターにエラー表示が出ている場合は、プリンターの取扱説明書をご覧ください。

プリントできない。

- 本機とプリンターがUSBケーブルで正しく接続されているか確認する。
- プリンターの電源が入っているか確認する。詳しくはプリンターの取扱説明書をご覧ください。
- プリント中に「終了」を選ぶと、再びプリントできない場合があります。USBケーブルを抜いて、接続しなおす。それでも復帰しないときは、USBケーブルをもう1度抜き、プリンターの電源を入れなおしてから接続しなおす。
- 動画とアルバム内の画像はプリントできません。
- 本機以外で撮影した静止画、またはパソコンで加工した画像はプリントできない場合があります。

プリントが中断される。

- ◻✕（USBケーブル抜き禁止）マークが消える前に、USBケーブルを抜いた。

日付挿入/インデックスプリントができない。

- プリンターが日付挿入/インデックスプリントに対応してない。対応の有無は、プリンターのメーカーにお問い合わせください。
- プリンターによっては、インデックスプリントでは日付が挿入されない場合があります。プリンターのメーカーにお問い合わせください。

日付部分に「---- -- --」などがプリントされる。

- 画像ファイルにプリント可能な撮影日時情報が入っていない。[日付]を[切]にしてプリントしてください（79ページ）。

プリントしたい用紙サイズが選択できない。

- プリンターがプリントしたい用紙サイズに対応しているか、プリンターのメーカーにお問い合わせください。

プリンターの用紙サイズどおりにプリントできない。

- 本機とプリンターを接続したあとにプリンターの用紙を別のサイズの用紙と取り換えた場合は、1度USBケーブルを抜いてプリンターを接続しなおしてください。
- 本機でのプリント設定と、プリンターの設定が合っていない。本機の用紙サイズ設定を変更する（79ページ）か、プリンターの用紙設定を変更する。

プリントを中止すると、他の操作ができない。

- プリンターがプリント中止の処理をしているので、しばらくお待ちください。プリンターによっては時間がかかることがあります。

その他

操作を受け付けない。

- 本機で使えるバッテリーを使う（101ページ）。
- ▭表示時は、バッテリー残量が少ない。充電する（→*別冊「はじめに」手順1*）。
- ACアダプターがはずれていないか確認する。
- 本機をサイバーショットステーションに正しく取り付ける（17ページ）。

電源が入っているのに操作できない。

- 内部システムが誤動作しています。バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。これでも操作できないときは、RESETボタンを先の細いもので押してから、電源を入れてください（この操作をすると日時などの設定が解除されます。）（84ページ）。

画面上の表示が分からない。

- 18ページをご覧ください。

レンズがくもる。

- 結露しています。電源を切って約1時間そのままにしてから使用する（102ページ）。

長時間使用すると、本機が熱くなる。

- 故障ではありません。

電源を入れると、時刻設定画面が表示される

- 時刻を設定しなおす（→*別冊「はじめに」手順2*）。

自己診断表示と警告表示

自己診断表示

画面にアルファベットで始まる表示が出たら、本機の自己診断機能が働いています。表示の末尾2桁(□□)の数字は、本機の状態によって変わります。
下記の対処を2、3度繰り返しても正常な状態に戻らないときは、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください(裏表紙)。

C:32:□□

- ハードウェアの異常。電源を入れなおす。

C:13:□□

- データが読めない/書けない。“メモリースティック デュオ”を数回抜き差しする。
- アルバムがフォーマットエラーのままである。または、フォーマットしていない“メモリースティック デュオ”を入れた。フォーマットする(54ページ)。
- 本機では使えない“メモリースティック デュオ”を入れた。またはデータが壊れている。“メモリースティック デュオ”を交換する(99ページ)。

C:91:□□

- パソコンからBGMファイルを転送中に接続が切れたなどの原因で、エラーが発生している。[BGMフォーマット] (58ページ)を行う。[BGMフォーマット]を行うと保存していたBGMファイルがすべて消去されるので、付属のソフトウェアを使ってBGMファイルを転送しなおしてください。

E:61:□□

E:91:□□

- 何らかの異常が起きている。RESETボタンを押して(84ページ)から、電源を入れる。

警告表示

画面には、次のような表示が出ることがあります。



- バッテリーの残量が少ない。バッテリーを充電する(→*別冊「はじめに」手順1*)。ご使用状況やバッテリーの種類によっては、バッテリー残量が5分から10分でも点滅することがあります。

“インフォリチウム”バッテリーを使ってください

- “インフォリチウム”対応以外のバッテリーを使っている。

メモリースティックがありません

- “メモリースティック デュオ”を入れてください(→*別冊「はじめに」手順3*)。

システムエラー

- 電源を入れなおす(→*別冊「はじめに」手順2*)。

メモリースティックエラー

- 本機では使えない“メモリースティック デュオ”が入っている（99ページ）。
- “メモリースティック デュオ”が壊れている。
- “メモリースティック デュオ”の端子部が汚れている。
- “メモリースティック デュオ”を正しく入れてください（→*別冊「はじめに」手順3*）。

非対応のメモリースティックです

- 本機では使えない“メモリースティック デュオ”が入っている（99ページ）。

フォーマットエラー

- フォーマットしなおす（54ページ）。

メモリースティックがロックされています

- 誤消去防止スイッチのある“メモリースティック デュオ”を使用し、スイッチが「LOCK」になっている。解除してください（99ページ）。

メモリースティックの残量がありません

- 不要な画像やデータを消去する（→*別冊「はじめに」手順6*）。

読み出し専用のメモリースティックです

- この“メモリースティック デュオ”への画像記録や消去はできません。

このフォルダにはファイルがありません

- フォルダ内に画像が記録されていない。
- パソコンからのファイルコピー方法が正しくない（70ページ）。

フォルダエラー

- 上３桁の番号が同じフォルダが“メモリースティック デュオ”内にある。（例：123MSDCFと123ABCDE）。別のフォルダを選択するか、フォルダを作成する（54ページ）。

これ以上フォルダ作成できません

- 上３桁の番号が「999」のフォルダが“メモリースティック デュオ”内にある。本機でこれ以上のフォルダを作成できません。

記録できません

- 本機で記録フォルダに設定できないフォルダを選択した。他のフォルダを選択する（55ページ）。

ファイルエラー

- 画像再生時に異常が発生した。

ファイルがプロテクトされています

- プロテクトを解除する（47ページ）。

画像サイズオーバーです

- 本機で再生できないサイズの画像を再生しようとしている。

無効な操作です

- 本機以外で作成したファイルを再生しようとしている。

（手ぶれ警告表示）

- 光量不足のため、手ぶれが起こりやすい状況になっているので、フラッシュを使用する。または、三脚などで本機をしっかりと固定する。

電源を入れ直してください

- レンズの誤動作。

アルバムエラー

- アルバム領域にエラーがある。アルバムをフォーマットしてください。（フォーマットすると、プロテクトされている画像を含むアルバム内のすべてのデータが消去されるのでご注意ください。）

接続先を確認してください

- 本機の設定が[PictBridge]になっているのに、PictBridgeに対応していない機器と接続している。接続している機器を確認する。
- 接続が確立できない。USBケーブルを抜いて、接続しなおす。プリンターにエラー表示が出ている場合は、プリンターの取扱説明書をご覧ください。

機器と接続してください

- プリンターと接続する前にプリントしようとした。PictBridge対応のプリンターと接続する。

プリントできる画像がありません

- プリント予約マークを付けないで[DPOF画像]を実行しようとした。
- 動画しか入っていないフォルダを選んで、[フォルダ内全て]を実行しようとした。動画はプリントできません。

プリンタービジー

用紙エラー

用紙がなくなりました

インクエラー

インクが少なくなりました

インクがなくなりました

- プリンターを確認する。

プリンターエラー

- プリンターを確認する。
- プリントしたい画像が壊れていないか確認する。



- 接続しているプリンターへのデータ転送が完了していない可能性がある。USBケーブルを抜かないでください。

処理中

- プリンターがプリント中止処理を行っている。処理が完了するまではプリントできません。プリンターによっては処理に時間がかかることがあります。

アルバムのデータを修復します

- アルバム内のデータが壊れています。[実行]を選択してデータを修復してください。すぐに撮影したい場合は、[キャンセル]を選択すると撮影できます。しかし、データの修復が実行されるまで電源を入れるたびに同じエラーメッセージが表示されます。
- データの修復を行うとプロテクトは解除されます。プロテクトの必要な画像には、プロテクトをかけなおしてください(46ページ)。
- アルバムのフォーマット中に電源が落ちても、フォーマットは実行されてしまいます。修復するとエラーは修復されますが、データは元には戻りません。

“メモリースティック”について

“メモリースティック”は、小さくて軽いIC記録メディアです。“メモリースティック”のうち、本機で使えるのは下の表のとおりです。ただし、すべての“メモリースティック”の動作を保証するものではありません。

“メモリースティック”の種類	記録・再生
メモリースティック（マジックゲート非対応）	–
メモリースティック（マジックゲート対応）	–
メモリースティック デュオ（マジックゲート非対応）	○
メモリースティック デュオ（マジックゲート対応）	○*1*2
マジックゲート メモリースティック	–
マジックゲート メモリースティック デュオ	○*1
メモリースティック PRO	–
メモリースティック PRO デュオ	○*1*2

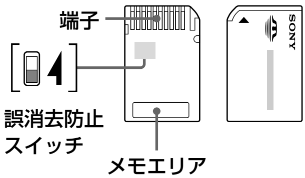
*1 マジックゲート搭載の“メモリースティック デュオ”です。“マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。本機ではマジックゲート機能が必要なデータの記録/再生はできません。

*2 パラレルインターフェースを利用した高速データ転送に対応しております。

- パソコンでフォーマットした“メモリースティック デュオ”は、本機での動作を保証しません。
- お使いの“メモリースティック デュオ”と機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。

“メモリースティック デュオ”（別売り）使用上のご注意

- 誤消去防止スイッチを先の細いものでスライドさせて「LOCK」にすると記録や編集、消去ができなくなります。



誤消去防止スイッチの有無や位置、形状は、お使いの“メモリースティック デュオ”によって異なることがあります。

- データの読み込み中、書き込み中には“メモリースティック デュオ”を取り出さないでください。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  – 読み込み中、書き込み中に“メモリースティック デュオ”を取り出したり、本機の電源を切った場合
  – 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- “メモリースティック デュオ”本体およびメモリースティック デュオ アダプターにラベルなどを貼らないでください。
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。

- 水に濡らさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込む恐れがあります。
- 以下のような場所でのご使用や保管は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

メモリースティック デュオアダプター(別売り)使用上のご注意

- “メモリースティック デュオ”を“メモリースティック”対応機器でお使いの場合は、必ず“メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れてからお使いください。アダプターに装着されていない状態で挿入されますと“メモリースティック デュオ”が取り出せなくなる可能性があります。
- “メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れるときは正しい挿入方向をご確認の上、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不充分だと正常に動作しない場合があります。
- “メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに装着して“メモリースティック”対応機器でご使用になるときは、正しい挿入方向を確認の上ご使用ください。間違ったご使用は機器の破損の原因となりますのでご注意ください。
- メモリースティック デュオ アダプターに“メモリースティック デュオ”が装着されていない状態で、“メモリースティック”対応機器に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。

“メモリースティック PRO デュオ”(別売り)使用上のご注意

- 本機で動作確認されている“メモリースティック PRO デュオ”は2GBまでです。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーについて

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーについて

本機は"インフォリチウム"バッテリー（Tタイプ）のみ使用できます。

InfoLITHIUM™ T TYPE

"インフォリチウム"バッテリーは、本機との間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。
"インフォリチウム"バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。

充電について

周囲の温度が10℃～30℃の環境で充電してください。これ以外では、効率のよい充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付けることをおすすめします。
- フラッシュ撮影、ズーム撮影などを頻繁にすると、バッテリーの消費が早くなります。
- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしてください。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などに濡らさないようにご注意ください。
- 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所に放置しないでください。

バッテリーの残量表示について

バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、本機で使い切ってから再び満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし長時間高温で使用したり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために、1年に1回程度満充電にして本機で使い切り、その後本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、「スライドショー」再生（28ページ）にして、電源が切れるまでそのままにしてください。
- 本機から取り出したバッテリーは、接点汚れ、ショート等を防止するため、携帯、保管時は必ず付属のバッテリーケースをご使用ください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

使用上のご注意

■ 置いてはいけない場所

- 異常に高温になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く
  変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■ 持ち運びについて

ズボンやスカートの後ろポケットに本機を入れたまま、椅子などに座らないでください。故障や破損の原因になります。

■ お手入れについて

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミが付いて汚れたときは、別売りの液晶クリーニングキットを使ってきれいにすることをおすすめします。

レンズをきれいにする

レンズに指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。

表面をきれいにする

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下はご使用にならないでください。

- シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類
- 上記が手についたまま本機を扱うこと
- ゴムやビニール製品との長時間の接触

■ 動作温度にご注意ください

本機の動作温度は約0℃～ 40℃です。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

■ 結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露が起こりやすいのは

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき、など。

結露を起こりにくくするために

本機を寒いところから急に暖かい所に持ち込むときは、ビニール袋に本機を入れて、空気が入らないように密閉してください。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

結露が起きたときは

電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

■ 内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切に関係なく保持するために充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し1か月程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。

内蔵の充電式電池の充電方法

本機に充電されたバッテリーを入れるか、ACアダプター（付属）でコンセントにつないだサイバーショットステーションに本機を取り付けて、電源を切ったまま24時間以上放置する。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーの充電方法

→*別冊「はじめに」手順1*

主な仕様

本体

[システム]

撮像素子	7.17 mm (1/2.5型) カラー CCD 原色フィルター
総画素数	約5 255 000画素
カメラ 有効画素数	約5 090 000画素
レンズ	カール ツァイス バリオ・テッサー 3倍ズームレンズ f=6.33 ～ 19.0 mm （35 mmカメラ換算では38 ～ 114 mm）、F3.5 ～ 4.4
露出制御	自動、シーンセレクション（9モード）
ホワイト バランス	オート、太陽光、曇天、 蛍光灯、電球、フラッシュ
記録方式 （DCF準拠）	静止画：Exif Ver. 2.2 JPEG準拠、DPOF対応 動画：MPEG-4準拠（ステレオ）
記録メディア	“メモリースティック デュオ”
フラッシュ	推奨撮影距離（ISO感度がオートのとき）約0.1 ～ 2.6 m（W）/約0.5 ～ 2.1 m（T）

[入出力端子]

マルチ接続端子	
USB通信	Hi-Speed USB（USB 2.0準拠）

[液晶画面]

液晶パネル	6.2 cm（2.5型）TFT駆動
総ドット数	123 200（560×220）ドット

[電源・その他]

使用バッテリー	リチャージャブルバッテリーパックNP-FT1
電源電圧	3.6 V
バッテリー端子入力	
消費電力 （撮影時）	1.2 W
動作温度	0℃～ +40℃
保存温度	－20℃～ +60℃
外形寸法	51.2×123.1×32.4 mm （幅×高さ×奥行き、突起部を除く）
本体質量	約210 g（バッテリーNP-FT1、“メモリースティック デュオ”、リストストラップなど含む）
マイクロホン	エレクトレットコンデンサマイクロホン
スピーカー	ダイナミックスピーカー
Exif Print	対応
PRINT Image Matching III	対応
PictBridge	対応

サイバーショットステーション UC-MB

[入出力端子]

A/V OUT (STEREO)端子(ステレオ)

	ミニジャック
	映像:1 Vp-p、75 Ω不平衡、同期負
	音声:327 mV(47 kΩ 負荷時)
	出力インピーダンス 1 kΩ
ψ(USB)端子	mini-B
USB通信	Hi-Speed USB (USB 2.0 High-Speed準拠)

DC IN端子

カメラ接続端子

ACアダプター AC-LS5

定格入力	AC 100 ~ 240 V、 50/60 Hz、11 W
定格出力	DC 4.2 V*
	*その他の仕様についてはACアダプターのラベルをご覧ください。
動作温度	0℃~ +40℃
保存温度	−20℃~ +60℃
外形寸法	約48×29×81 mm (幅×高さ×奥行き、最大突起部を除く)
本体質量	約130 g(本体のみ)

リチャージャブルバッテリーパック NP-FT1

使用電池	リチウムイオン蓄電池
最大電圧	DC 4.2 V
公称電圧	DC 3.6 V
容量	2.4 Wh(680 mAh)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

記録内容の補償はできません

万一、デジタルスチルカメラや"メモリースティック デュオ"などの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このデジタルスチルカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

■調子が悪いときはまずチェックを

"故障かな？と思ったら"の項を参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください（裏表紙）。

■保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

■部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

■部品の保有期間について

当社はデジタルスチルカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過したあとも、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください（裏表紙）。

■修理をお受けになる際は

修理によってデータが消去または変更された場合、記録内容の保障についてはご容赦ください。

安全のために

→ 3ページもあわせてお読みください。

⚠警告　火災　感電

下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はテクニカルインフォメーションセンターにご依頼ください。

分解禁止

内部に水や異物（金属類や燃えやすい物など）を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

禁止

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

禁止

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

禁止

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。

禁止

機器本体や付属品は乳幼児の手の届く場所に置かない

電池、"メモリースティック"など付属品を飲み込む恐れがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

禁止

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。
また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

指示

電源コードを傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

禁止

可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しない

禁止

フラッシュ、AFイルミネーターなどの撮影補助光を至近距離で人に向けない

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。

禁止

注意

火災　感電

下記の注意事項を守らないと、**けがや財産に損害**を与えることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。

禁止

ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。

ぬれ手禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブル、A/V 接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

指示

通電中の AC アダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

禁止

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

禁止

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

フラッシュの発光部を手でさわらない

フラッシュ発光部を手で覆ったまま発光しないでください。発光後も発光部に手を触れないでください。やけどの原因となります。

禁止

レンズや液晶画面に衝撃を与えない

レンズや液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

禁止

電池や付属品を取りはずすときは、手をそえる

電池や“メモリースティック”などが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

指示

⚠危険 電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがややけど、火災などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

⚠危険

- 乾電池型充電式電池・バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で濡らさない。濡れた電池を充電したり、使用したりしない。

禁止

⚠警告

- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。
- アルカリ電池/ニッケルマンガン電池は充電しない。
- 外装シールをはがしたり、傷つけたりしない。外装シールの一部または、すべてをはがしてある電池や破れのある電池は絶対に使用しない。

禁止

⚠注意

- 電池は、+、−を確かめ、正しく入れる。
- 電池を使い切ったときや、長時間使用しない場合は機器から取り出しておく。

指示

- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池は混ぜて使わない。

禁止

お願い

リチウムイオン電池とニッケル水素電池はリサイクルできます。不要になったこれらの電池は、金属部分にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion
リチウムイオン電池

Ni-MH
ニッケル水素電池

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店については

有限責任中間法人JBRCホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照してください。

用語の解説

インストール(63、71、75ページ)
ソフトウェアなどをコンピューターにコピーして組み込み、使用できる状態にすること。

"インフォリチウム"バッテリー(101ページ)
"インフォリチウム"対応機器とバッテリーの使用状況に関し、データ通信できるバッテリー。

オートパワーオフ機能(*→別冊「はじめに」手順2*)
電源を入れたまま一定時間操作をしないと、バッテリーの消耗を防ぐため、本機の電源が自動的に切れる機能。

拡張子(69、70ページ)
ファイルの種類を表す3 ～ 4文字の英数字のこと。ファイル名の末尾にピリオドで区切られた一番右側の部分。

画素(13ページ)
画像を構成する最小単位。画素数が多いほど画像サイズが大きくなり、画像の解像度が高くなる。

画像サイズ(13ページ)
画素数を縦×横で表示したサイズ。画像サイズが大きいと、画素数が多くなり画像の解像度が高くなる。

光学ズーム(51ページ)
カメラのレンズ機能として拡大ズームを行うこと。CCDとレンズの間の焦点距離を変化させることにより広角・望遠を切り換える方式。画像の劣化はない。

シャッタースピード(12ページ)
撮影時にCCDに光を当てる時間のこと。シャッタースピードを速くすると動きのある被写体も止まって写り、遅くすると流れて写る。

デジタルズーム(51ページ)
デジタル処理により画像を拡大する機能のこと。光学ズームに比べて画質が劣ります。

ドライバ(63ページ)
どのような周辺機器がどのように接続されているかをコンピューター側に知らせ、周辺機器を正しく動かすために必要なソフトウェアのこと。

ノイズ(12ページ)
CCDが光を受け取り信号として出力するまでの過程で発生する画像のざらつきのこと。

半押し(*→別冊「はじめに」手順5*)
PHOTOボタンを押し込まず、半分押しした状態にしておくこと。PHOTOボタンを半押しすると、撮影状況に合わせてピントと露出を自動で調整する。

ピント(38ページ)
被写体に対する焦点のこと。本機はピントを自動調整する。撮影距離を手動でも設定できる。

フォーマット(54、57ページ)
「初期化」とも言い、記録メディアにデータを書き込めるようにすること。フォーマットすると、記録メディアに保存されているデータはすべて消える。

フォルダ(45、54ページ)
本機で撮影した画像をまとめて格納する場所。目的別(イベント別)・日付別に画像を分類するときに便利。

ホワイトバランス(40ページ)
光源に合わせて色を調整する機能。被写体の見た目の色は光の状況に影響される。例えば、電球の下で撮影すると白い被写体が赤っぽく写る。ホワイトバランスを設定すると、自然な色合いで撮影できる。

"メモリースティック"(99ページ)
"メモリースティック"は小さくて軽いIC記録メディア。本機には、通常の"メモリースティック"より小型の"メモリースティック デュオ"を使用する。

有効画素数(104ページ)
CCDが光から電気信号に変換できる画素数。有効画素数から画像処理をしたものが記録画素数になる。

露出(12ページ)
絞りとシャッタースピードの値により決まる光量。

AE(39ページ)
「Auto Exposure」の略で、被写体の明るさをカメラが判断して、自動で露出を決める機能。

AF(39ページ)
「Auto Focus」の略で、カメラが自動でピントを合わせる機能。

CCD(104ページ)
「Charge Coupled Device」の略で、光を電気信号に変換する半導体の一種。

DCF(9ページ)
「Design rule for Camera File system」の略で、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)で制定された統一規格。

DPOF(81ページ)
「Digital Print Order Format」の略。「ディーポフ」と読み、プリント予約したい写真を"メモリースティック デュオ"上に指定できる。

EV(37ページ)
「Exposure Value」の略で、露光量を表す単位。

Exif(104ページ)
(社)電子情報技術産業協会(JEITA)が制定した撮影情報などの付帯情報を追加できる静止画像用のファイルフォーマット。

ISO(40ページ)
「イソ」と読み、カメラフィルムの光に対する感応度で、ISO単位で表す。数値が大きいほど高感度に撮影できる。

JPEG(69ページ)
「ジェイペグ」と読み、インターネットで扱う代表的なカラーの静止画を圧縮する形式。本機では、通常の静止画撮影時、JPEG形式で画像を保存する。

Mass Storage(59ページ)
“メモリースティック”が入ったデジタルカメラ自体を、外付けの記憶装置として認識し、USB接続したパソコンから操作可能なモード。

MPEG-4(69ページ)
「エムペグフォー」と読みます。画像/音声データの圧縮形式のひとつで、高画質、高音質を維持したままファイルのサイズを小さくすることが可能です。本機では、動画撮影時にMPEG-4で圧縮して、MP4ファイル形式で保存します。

OS(62、74ページ)
「Operating System」の略。コンピューター全体を管理し、コンピューターを操作するのに必要な基本ソフトウェアのこと。

PictBridge(77ページ)
「ピクトブリッジ」と読み、カメラ映像機器工業会(CIPA)で制定された統一規格。PictBridge対応のプリンターと本機を接続して、画像ファイルをプリントできる。

PTP(59ページ)
「Picture Transfer Protocol」の略。パソコンに画像データを簡単にコピーできる接続方法。

USB(62、74ページ)
「Universal Serial Bus」の略。キーボードやマウスなどのパソコンの周辺機器を接続するための規格。

VGA(→*別冊「はじめに」手順4*)
「Video Graphics Array」の略。640×480の画像サイズのこと。

索引

ア行

アイコン ....画面表示 へ
赤目軽減 52
圧縮率 14
アフターサービス 106
アルバム 30
アルバムツール............. 57
一覧（インデックス）表示
→ *別冊「はじめに」手順6*
色 13
印刷 ....プリント へ
インストール.... 63, 71, 75
インターバル................ 42
インデックス表示
→ *別冊「はじめに」手順6*
インデックスプリント ... 77
インフォリチウム
バッテリー 101
ウィンドウズ
.... Windows へ
打ち上げ花火モード 35
液晶画面 ....画面 へ
オート撮影
→ *別冊「はじめに」手順5*
オートパワーオフ機能
→ *別冊「はじめに」手順2*
オートフォーカス 11
オートレビュー............. 53
お手入れ 102
お店でプリント............. 81
主な仕様 104
音量
→ *別冊「はじめに」手順6*

カ行

海外で使う
→ *別冊「はじめに」手順1*
回転 48
拡大鏡モード................ 35
拡張子 69, 70
各部のなまえ................ 15
画質 13, 41
カスタマー登録....... 裏表紙
画素 13
画像サイズ................... 13
→ *別冊「はじめに」手順4*
画像ファイルの保存先と
ファイル名 69
画像をパソコンに
取り込む 63
カメラ 51
画面
明るさ...................... 58
画面表示 18
表示切り換え 23
キャンドルモード 35
強制発光
→ *別冊「はじめに」手順5*
記録可能枚数/時間........ 24
記録フォルダ作成 54
記録フォルダ変更 55
近接撮影 ...... マクロ撮影 へ
蛍光灯 40
警告表示 96
結露 102
言語 9
光学ズーム................... 51
高速シャッターモード ... 35
高速連写 41
誤消去防止スイッチ 99
コピー 56
困ったときは................ 84
コントラスト................ 43
コンピューター
...................パソコン へ

サ行

再生 ....見る へ
再生時に使うメニュー ... 45
再生ズーム
→ *別冊「はじめに」手順6*
彩度 43
サイバーショット
ステーション 17
削除
→ *別冊「はじめに」手順6*
撮影 ....撮る へ
撮影時に使うメニュー ... 35
撮影モード................... 41
サポート .... 裏表紙
シーンセレクション 35
自己診断表示................ 96
絞り 12
シャッタースピード 12
シャープネス................ 44
充電 16
→ *別冊「はじめに」手順1*
使用上のご注意........... 102
初期化 ...... フォーマット へ
シングルプリント 77
ズーム
→ *別冊「はじめに」手順5*
スタンダード................ 41
スノーモード................ 35
スポットAF 38
スポット測光
→ *別冊「はじめに」手順5*
スポット測光照準
→ *別冊「はじめに」手順5*
スライドショー............. 28
スローシンクロ
→ *別冊「はじめに」手順5*
静止画オート撮影
→ *別冊「はじめに」手順5*

接続 ....つなぐ へ
設定1 58
設定2........................ 59
セットアップ............... 50
　アルバムツール......... 57
　カメラ..................... 51
　設定1 58
　設定2 59
　メモリースティック
　ツール..................... 54
セピア 43
セルフタイマー
　→ *別冊「はじめに」手順5*
操作音 58
　→ *別冊「はじめに」手順5*
測光モード
　→ *別冊「はじめに」手順5*
ソフトウェア............... 71

タ行

太陽光 40
ダイレクトプリント 77
中央重点AF 38
つなぐ
　テレビ..................... 83
　プリンター 78
デジタルズーム............ 51
手ぶれ 11
テレビ 83
電球 40
電子式電圧計
　→ *別冊「はじめに」手順1*
電池 .... バッテリー へ
問い合わせ............. 裏表紙
動画撮影
　→ *別冊「はじめに」手順5*
時計合わせ
　→ *別冊「はじめに」手順2*
時計設定..................... 60
トリミング.................. 49
撮る
　静止画
　→ *別冊「はじめに」手順5*
　動画
　→ *別冊「はじめに」手順5*
曇天 40

ナ行

内蔵充電式電池........... 102
日時分 52
年月日 52

ハ行

ハイブリッド撮影
　→ *別冊「はじめに」手順5*
パソコン
　Macintosh 74
　Windows 61
　画像を取り込む ... 63, 74
　推奨環境 62, 74
　ソフトウェア 71
　パソコン内の画像を
　本機で見る 70
バッテリー
　入れる/取り出す
　→ *別冊「はじめに」手順1*
　残量確認
　→ *別冊「はじめに」手順1*
　充電する 16
　→ *別冊「はじめに」手順1*
　使用時間 26
早送り/巻き戻し
　→ *別冊「はじめに」手順6*
半押し
　→ *別冊「はじめに」手順5*
ビーチモード............... 35
ピクチャーエフェクト ... 43
ピクチャーパッケージ
　..... PicturePackage へ
ピクトブリッジ
　.............PictBridge へ
ヒストグラム.......... 23, 37
日付/時刻 52
ビデオ信号出力............ 60
ピント 11, 38
ファイルナンバー 59
ファイルの保存先 69
ファイル名.................. 69
ファイン 41
風景モード.................. 35
フォーカス.................. 38
フォーカスプリセット ... 38
フォーマット.......... 54, 57
フォルダ 45
　作成........................ 54
　変更........................ 55
付属品
　→ *別冊「はじめに」*
ブラケット.................. 41
ブラケット設定............ 42
フラッシュ 40
フラッシュモード
　→ *別冊「はじめに」手順5*
フラッシュレベル 43
プリント 76
　インデックス
　プリント 77
　シングルプリント...... 77
プリント予約マーク 81
プログラムオート撮影 ... 35
プロテクト.................. 46
変換プラグアダプター
　→ *別冊「はじめに」手順1*

保証書 106
ホワイトバランス 40

マ行

マクロ撮影
→ *別冊「はじめに」手順5*
マッキントッシュ
.... Macintosh へ
マルチAF 38
マルチパターン測光
→ *別冊「はじめに」手順5*
マルチ連写 41
見る
アルバム内の画像 30
静止画
→ *別冊「はじめに」手順6*
動画
→ *別冊「はじめに」手順6*
メニュー 33
再生時に使う
メニュー 45
撮影時に使う
メニュー 35
メニュー項目一覧 34
メモリースティック
ツール 54
メモリースティック
デュオ 99
入れる/取り出す
→ *別冊「はじめに」手順 3、4*
記録可能枚数/時間 24
誤消去防止スイッチ ... 99
持ちかた
→ *別冊「はじめに」手順5*
モノトーン 43

ヤ行

夜景＆人物モード 35
夜景モード 35
有効画素数 104
用語の解説 110

ラ行

リサイズ 48
リストストラップ
→ *別冊「はじめに」*
リセット 84
連写 41
露出 12
露出アンダー 12
露出オーバー 12

アルファベット順

ACアダプター 16
→ *別冊「はじめに」手順1*
AE/AFロック表示 39
→ *別冊「はじめに」手順5*
AFイルミネーター 53
AF測距枠 38
AF測距枠表示 38
AFロック 39
→ *別冊「はじめに」手順5*
A/V接続ケーブル 83
BGM 29
BGMフォーマット 58
BRK 41
CD-ROM 63
DC IN端子 16
DirectX 62, 71
DPOF 81
EV補正 37
FINE 41
InfoLITHIUM
バッテリー 101
ISO 12, 40
JPEG 69
LCDバックライト 58
Macintosh 74
推奨環境 74
Mass Storage 59
Mode 41
MP4 69
Music Transfer 72, 75
NRスローシャッター 20
NTSC 60
OS 62, 74
PAL 60
PFX 43
PictBridge 59, 77
PicturePackage 71
PTP 59
P.エフェクト 43
STD 41
USBケーブル 64, 78
USB接続 59
USBドライバ 63
VGA
→ *別冊「はじめに」手順4*
WB 40
Windowsパソコン 61
推奨環境 62

数字

5秒REC
→ *別冊「はじめに」手順5*

■困ったときは(サポートのご案内)

ホームページで調べる

SUPPORT

サイバーショットの最新サポート情報(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など)はこちらのホームページから
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

サイバーショットオフィシャルWEBサイト
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/

サイバーショットの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。英語の取扱説明書のダウンロードもできます。
(English manual download service is available.)

付属ソフトウェア(PicturePackage)のサポート情報
http://www.ppackage.com/

電話で問い合わせる(おかけ間違いにご注意ください。)

TEL

テクニカルインフォメーションセンター
電話:0564-62-4979
受付時間:月〜金曜日:午前9時〜午後8時
土、日曜日、祝日:午前9時〜午後5時
お問い合わせの際は、本機をお手元にご用意ください。

Picture Package™

PicturePackageに関するお問い合わせ窓口
ピクセラユーザーサポートセンター
電話:06-6633-3900
受付時間:月〜日曜日　午前9時〜午後5時(年末、年始、祝日を除く)

REPAIR

指定宅配便での修理品のお引取り、修理後の製品のお届けまでを一括して行います。テクニカルインフォメーションセンターへお電話いただくか、WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-repair/

■カスタマー登録のご案内

サイバーショット カスタマー登録

カスタマー登録していただくと、安心・便利な各種サポートが受けられます。詳しくは、同梱のチラシ「カスタマー登録のご案内」もしくはご登録WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-regi/

登録後は登録者専用お問い合わせ窓口をご利用いただけます。
詳しくは下記のURLをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/contact/

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35　http://www.sony.co.jp/

eco info この説明書は100%古紙再生紙とVOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan

2638430020